

第1章 札幌市の観光への取り組み

1 平成22年度観光コンベンション部の事業概要

各事業の詳細については、【】内に記載している各担当係までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

札幌市観光文化局観光コンベンション部観光企画課

電話 011-211-2376

○観光客の受け入れ環境整備事業

(1) 観光案内所の運営管理【観光誘致・受入担当】

来札客に各種観光情報等を提供するため、市内に観光案内所を設置しています。常設の案内所のほか、観光シーズンやイベントに合わせて設置する案内所があります。

また、外国人来札客に対する観光情報提供場所として、国際観光振興機構（日本政府観光局：J N T O）の指定による「ビジット・ジャパン案内所（V案内所）」があります。

〔観光コンベンション部案内所一覧〕

名 称	概 要
北海道さっぽろ観光案内所 (V案内所)	所在地：中央区北6西4 JR札幌駅1階西側コンコース 定休日：年中無休 営業時間：8:30～20:00 電話番号：011-213-5088
カッコウの窓口 (V案内所)	所在地：中央区北1西2 市役所2階 定休日：土日祝、年末年始 営業時間：8:45～17:15 電話番号：011-251-2141
大通公園観光案内所	所在地：中央区大通西3丁目 開設期間：春～秋季のみ 平成22年度は4/28～10/31まで開設 定休日：開設期間中は無休 営業時間：9:30～17:30(4～6月、9・10月) 9:00～18:00(7・8月) 電話番号：なし
定山渓観光案内所	所在地：南区定山渓温泉東3丁目 定休日：年末年始 営業時間：9:00～17:00 電話番号：011-598-2012
札幌国際プラザ (V案内所)	所在地：中央区北1西3札幌MNビル3階 定休日：日祝、年末年始 営業時間：9:00～17:30 電話番号：011-211-3678
雪まつり観光案内所	所在地：中央区大通西6・9丁目 開設期間：雪まつり会期中のみ 平成23年は2/7～13まで開設予定 定休日：雪まつり会期中無休 営業時間：9:00～22:00 電話番号：なし

(2) 観光マップ制作【観光誘致・受入担当】

来札客の円滑な周遊をサポートするためのツールとして、中心部及び広域マップに主な観光施設を掲載した「さっぽろ観光マップ」を発行しています。日本語のほか、英語、中国語（簡体字・繁体字）及びハングルの5言語を制作し、市内各案内所等で配布しています。

(3) 観光案内板の管理【庶務係】

来札客の利便性を図るために、195基の観光案内板を設置しています。表示言語は、日本語・英語・中国語（簡体字）・ハングルの4言語に加え、中国語（繁体字）の追記を順次行っており、外国人の来客にも対応しています。また、ユニバーサルデザインやピクトグラム（絵文字表記）を採用して利便性に配慮しています。

(4) 都心部観光バス待機場の設置【観光誘致・受入担当】

観光バスで訪れた観光客が街なかを見学している間、バスが路上駐車をしなくても済むように、札幌市と北海道バス協会が共同で観光バス専用の待機場を設置し、北海道バス協会が管理運営を行っています。

観光バス待機場所在地：中央区北1条西9丁目〔平成21年度利用台数12,724台〕

(5) 札幌まちめぐりバス事業への参画【観光誘致・受入担当】

公共交通の利用促進と、札幌を訪れる観光客の利便性、観光施設と連携した札幌の魅力アップを目的として行っている「札幌まちめぐりバス」の事業（平成18年度～平成20年度は実証実験）に参加しています。

日本語版パンフレットについては、平成20年度より、フリーペーパー要素を加味することで制作費・印刷費を広告収入で賄うこととし、事業の枠組みを確立しました。

一方、台湾・香港など外国の観光客の関心も高いことから、観光圏整備事業費補助金を活用して外国人観光客の滞在、周遊促進にむけた取り組みを行っています。

○ホスピタリティ推進事業【観光誘致・受入担当】

(1) 観光ボランティアの運営

市民による観光ボランティアが、大通公園観光案内所や北海道さっぽろ観光案内所、雪まつり会場の案内所で、パンフレットの配布や観光スポットの紹介、写真撮影などの観光案内を行っています。地元住民ならではの意見が聞けるということで、観光客から好評を得ています。

登録数は179名（男64名・女115名）、平均年齢は62.3歳であり、活動は交代制となっています（平成22年7月現在）。

(2) 札幌魅力再発見研修

観光客への案内スキルの向上やおもてなし意識の醸成を図り、札幌観光の満足度向上を目的に、札幌市内のホテルのフロントやコンシェルジュ、観光事業者などを対象として、市内及びさっぽろ広域観光圏域内の観光スポットの視察研修・体験研修を実施しています。

(3) 市民と協働による観光リーフレット制作

地元市民が好んで行く札幌のおすすめスポット情報を札幌観光に役立ててもらうことを目的に、テーマごとに市民おすすめ観光モデルコースの作成を行っています。市民と協働で事業を実施することで、観光ガイドブックの定番情報とは異なる地元市民ならではの情報を提供しています。リーフレットの制作のほか、観光情報サイト「ようこそさっぽろ」にも掲載しています。

ようこそさっぽろ（観光モデルコース）

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/sansaku/>

(4) 札幌おもてなし委員会（4 トピックス（p12）参照）

まち全体のおもてなし向上を目指すため、観光関連団体（経済団体、観光関連事業者、都心部商店街、市民ボランティア、行政など）と連携・協力して立ち上げた、官民合同の組織である「札幌おもてなし委員会」の事務局をしています。おもてなしのための人材育成、大規模コンベンション等での統一感のあるおもてなし、観光関連事業者の情報共有・ネットワーク化を行い、おもてなしレベルアップを図っていきます。

○観光情報の発信【観光誘致・受入担当】

(1) ホームページの運営管理

ア) 観光情報サイト「ようこそさっぽろ」の運営管理

札幌市の観光情報サイトとして「ようこそさっぽろ」を公開しています。

このサイトは、市民・企業・大学（研究機関）・行政が集まった委員会で運営方針を決定、それに基づいて毎月、運営編集を行っています。内容としては、交通機関や観光施設等の基本情報のほか、イベントなど季節限定の情報を紹介。また、年1回の公募・審査により選定された「その道の達人」が書く記事を毎週更新するなど、定番から旬なものまでバラエティに富んだ観光情報を提供しています。

日本語のほか、英語・中国語（繁体字・簡体字）・ハングル版があります。

ようこそさっぽろ <http://www.welcome.city.sapporo.jp>

イ) リアルタイム情報発信システム運営

市内で行われる様々な観光・文化事業の情報を集約し、季節情報（桜開花情報、紅葉情報など）や観光施設の運休情報（ロープウェイ、観光幌馬車など）などのリアルタイム情報とあわせて、市民へわかりやすく提供する「観光文化情報ステーション」を運営しています（観光文化局文化部に予算を委託し運営）。

なお、観光文化情報ステーションは以下のホームページでも情報発信を行っています。

観光文化情報ステーション

所在地：地下鉄南北線「大通駅」地下コンコース北改札口横

定休日：年末年始（12/29～1/3）

営業時間：10：00～20：00

【URL】<http://www.sapporo-info.com/index.php>

【携帯電話用URL】<http://www.sapporo-info.com/m/>

QRコード⇒



(2) 観光情報共有メーリングリストの管理運営

季節情報（桜開花情報、紅葉情報など）や観光施設運休情報（ロープウェイ、観光幌馬車など）、各種イベント情報、ホテルの混雑状況等の観光関連情報を、観光案内所や市内ホテル関係者等で共有するためのメーリングリスト「観光情報ネット」を運営しています。

(3) 写真ライブラリー

企業等が札幌の観光ガイドブックやパンフレット制作を行う際に必要となる市内の観光スポット等の写真を保有しており、ホームページで無料ダウンロードサービスを行っています。[平成22年4月現在 約1,800枚保有]

札幌の観光行政（観光写真ライブラリー）

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/index.html>

○修学旅行誘致に関する企画【観光振興担当】

首都圏などから中学・高校生の教育旅行を誘致するために、道央圏の関係団体（行政・観光協会等）で組織する「道央圏教育旅行推進会議」に参加し、教育旅行誘致パンフレットの制作を行っています。

○藻岩山魅力アップ構想推進事業【観光資源担当】

札幌を一望できる藻岩山は都心からのアクセスも良く、その眺望の美しさで多くの観光客や市民に親しまれており、また、大都市に隣接しながらも豊かな自然に恵まれていることから環境文化都市のシンボルとして位置づけられています。

これまで、「第4次札幌市長期総合計画」における位置づけを踏まえ、有識者、公募市民などから構成される懇談会、シンポジウム、フォーラム等を通じ、藻岩山の今後のあり方、グランドデザインや魅力アップの方向性などについて検討を行いました。それらを基に平成19年度に策定した「藻岩山魅力アップ構想」は、今後の藻岩山のあるべき姿・方向性とともに、藻岩山で想定される施設の改修や求められる機能、さらにはこの機能を担う施設のガイドラインを示しています。

ロープウェイ、展望台などといった藻岩山における各施設は、建設から40年近くが経過し老朽化が顕著となっているため、「藻岩山魅力アップ構想」に基づき施設再整備を進めています。藻岩山は190万都市札幌に隣接する地域である一方、天然記念物にも指定されているほどの豊かな自然を有しており、この恵まれた資源を市民や観光客、子どもから高齢者に至るまで誰もが感じられるよう再整備を行うもので、環境の保全とバリアフリーを二つの大きなテーマとしています。

ロープウェイの改修工事は平成22年4月から開始しており、これに伴いロープウェイ、観光道路は閉鎖していますが、登山道は引き続き利用することができます。

今後、平成22年11月に各施設の解体を始め、雪解け後の平成23年4月からは山頂、中腹でも本格的な建設工事を開始し、平成23年秋頃リニューアルオープンする予定です。

また、ハード面だけではなく、「藻岩山の日」や「さっぽろに緑を広めよう」などといった各種イベントを実施し、ソフト事業のさらなる充実を図っていきます。

○国内外へ向けた観光プロモーション事業

(1) 国内プロモーション事業【観光振興担当】

札幌市を訪れる観光客の約44%は道外からの来客です。道外観光客は消費行動などの経済効果も大きく、地域の活性化に果たす役割は大きいといえます。

本市では、道外観光客の誘致に向けた取り組みに重点をおき、特に約3,000万人の人口を抱え、札幌への来客割合が多い首都圏を中心に、PR事業を展開していきます。

ア) ターゲット別国内観光プロモーション事業

首都圏において旅行会社及びマスメディア等を対象とした事業「ROUND-TABLE about SAPPORO TOURISM」を開催しています。

この事業では、札幌観光の魅力を強く発信する説明会と商談会を行い、札幌観光のPRと新たな旅行商品の造成につなげていきます。

イ) 観光メールマガジンの配信

札幌観光の旬の魅力を広く発信するため、主に首都圏の旅行会社の方々を対象に観光メールマガジンを配信しています。このメールマガジンでは、魅力が読者により伝わるよう観光コンベンション部職員が実際に体験取材を行い記事にしています。

メールマガジンの配信は、下記のホームページから申し込むことができます。

札幌の観光行政(メールマガジン配信申込・バックナンバー紹介)
http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/mail_magazine/mail_magazine.html

(2) 国際プロモーション事業【観光誘致・受入担当】(4 トピックス (p13) 参照)

近年、海外からわが国への来客数は増加を続けていましたが、平成 21 年は、前年の世界金融危機の影響を受け、減少に転じました。現在、政府では「ビジット・ジャパン・キャンペーン (VJC)」を展開し、海外からの来客を倍増させる取り組みを進めており、今後、経済の回復に併せて急速に増加していく見込みです。

札幌市を訪れる外国人は、これまで台湾や香港、韓国が上位 3 カ国を占めていましたが、経済成長にあわせ中国が大幅に増えており、21 年度は韓国を抜いて第 3 位になりました。22 年 7 月の個人ビザ発給要件緩和にあわせ、今後、いっそう増加することが見込まれています。また、22 年度から、VJC 地方連携事業対象市場に、ロシア・インド・マレーシアが新たに加わり、新たな市場として今後の入込みが期待されており、札幌市では、こうした海外からの観光客をさらに誘致するために、各種の PR 事業を展開していきます。

ア) 現地プロモーション事業

現地の旅行会社等を対象に、観光セミナーや商談会を行うことで、より魅力的な旅行商品の造成を促します。また現地のイベントや物産展とタイアップし、一般市民に向けて直接 PR を行うことで、旅行意欲を喚起します。

22 年度実施地：上海、北京、ソウル、台北、香港、シンガポール
ハバロフスク、ユジノサハリンスク

イ) 国際旅行博覧会出展事業

旅行に関心の高い一般市民が集まる場で、直接 PR や情報提供を行うことで集客につなげ、同時に来場者や出展旅行会社から、聞き取りによる市場調査を行います。

22 年度出展先：MATTA Fair (マレーシア)、OTM (インド)

ウ) 情報発信事業

旅行や観光 PR をテーマとしたテレビ番組の制作支援や、メディア招請、インターネットを活用した情報発信を行い、旅行意欲を喚起します。

22 年度発信先：中国、香港、タイ、シンガポール、マレーシア

○コンベンション誘致・支援事業【観光誘致・受入担当】

近年、コンベンションのみならずイベントや企業の報奨旅行などを包括した MICE (マイス=Meeting、Incentive travel、Convention、Event/Exhibition) という概念が誕生し、国は平成 22 年 (2010 年) を「Japan MICE Year」と銘打って、MICE 推進に取り組んでいます。そういった中、都市間競争に打ち勝つために、本年、(財) 札幌国際プラザ コンベンションビューロー*とともに、「札幌 MICE 総合戦略」を策定し、産業界や大学、市民との連携や海外とのネットワークを重要な要素として、MICE によるさらなる集客を目指していきます。

(1) コンベンション誘致事業

会議の運営費用に係る助成金制度の整備や運用、国際コンベンション見本市への出展等、コンベンション誘致事業を行うほか、割引地下鉄 1 日乗車券「A カード」の制作等の会議開催支援を行い、会議参加者のアフターコンベンション（会議後の観光等）を促進しています。

(2) 関係団体との連絡調整

札幌市におけるコンベンション誘致の中心組織である(財) 札幌国際プラザコンベン

ションビューローに対して補助金を交付するとともに、会議開催の鍵となるキーパーソンの札幌招へい、国際コンベンション見本市への出展など、誘致事業についても連携しながら、実施しています。

また、大規模・国際的なコンベンション（例：国際顕微鏡学学会、その他政府系国際会議など）の誘致については、関係者（道、経済団体、企業等）との意見交換や調整を図るなど、戦略的な誘致に向けた取り組みを行っています。

（財）札幌国際プラザコンベンションビューロー：コンベンションを誘致するため、誘致段階（誘致プレゼンテーション資料の提供、招聘状の送付など）、開催段階（コンベンション運営の手伝い、ボランティアの派遣）等の事業を主な活動とする非営利の推進機関です。

○ P R ツールの制作、配布・貸出【観光振興担当】

札幌の観光の魅力を視覚的にアピールしていくために、広報宣伝物を制作し、配布または貸出を行っています。

(1) ビデオ・D V D

本市では、プロモーションビデオ（D V D）を制作しており、プロモーションの機会などに配布しているほか、国内外観光拠点（国際観光振興機構海外事務所、札幌市東京事務所、北海道観光振興機構）に常備し、誘致用に活用するとともに、観光情報提供窓口である「カッコウの窓口」において、貸出を行っています。

タイトル	言語	メディア	制作年度
歓迎交響曲	日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語	DVD、ビデオ	初版：平成 13 年度 第五版：平成 20 年度

また、現在、新たなプロモーションD V Dの制作を進めています。制作にあたり撮影する映像素材は、D V Dのほか各種プロモーション活動に使用していきます。

(2) 観光 P R リーフレット・ポスター

本市では、さまざまな機会をとらえた幅広いプロモーション活動を行うため、観光 P R リーフレットとポスターを制作しています。制作したリーフレットやポスターは、全国各地で行われる物産展や各種イベント等で配布、掲出していきます。

○ 集客交流事業者に対する助成制度の実施【観光振興担当】

(1) 観光プロモーション助成事業

札幌観光の最大のマーケットである首都圏及び関西圏において、札幌の観光の魅力を P R する事業に対し、その費用の一部を助成し、札幌観光の活性化を図ります。

〔平成 22 年度予算額：200 万円〕※ 1 件あたりの助成金額は、助成対象経費の 2 分の 1 以内で、50 万円を上限としています。

(2) 芸術・文化・食等を活用した街の魅力創造支援事業

芸術・文化・食等の観光魅力を活用し、観光客の札幌市での滞在をより充実させることを目的とする事業に対して、費用の一部を助成し、街の魅力づくりを支援します。

〔平成 22 年度予算額：200 万円〕※ 1 件あたりの助成金額は、助成対象経費の 2 分の 1 以内で、50 万円を上限としています。

○ 来札観光客の動向調査・分析、結果についての情報提供【計画担当】

(1) 来札観光客数、訪日外国人宿泊客数の調査

札幌市への来札観光客の入り込み数や宿泊施設の利用状況などの調査を行い、本書「札幌の観光」やインターネットで公開しています。

札幌の観光行政(観光統計データ)

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/statistics.html>

(2) 来札観光客動態調査

来札観光客の動態を明らかにし、今後の観光行政に活用することを目的に、以下の調査を実施します。

なお、過去の調査結果はホームページで公開しています。

札幌の観光行政(計画・調査レポート)

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/program/program.html>

ア) 来札観光客満足度調査

主要ターゲットである首都圏・関西圏からの観光客を対象に、来札観光の満足度、観光消費額、宿泊日数、再訪意向などのアンケート調査を実施します。

[平成 20 年度 来札観光客の札幌観光に対する総合満足度：85.5%]

イ) 外国人観光客動態調査

香港、台湾、韓国等、来札観光客が多い東南アジアを中心に、道内及び市内でどのような観光行動をとっているか、外国人観光客を対象としたアンケート調査を実施します。

[平成 20 年度 外国人観光客の札幌観光に対する総合満足度：93.3%]

○定山渓観光客誘致関連【観光振興担当】

平成 16 年度に策定された「定山渓温泉活性化ビジョンアクションプログラム」に関連して実施される各種ウォーキング、散策、定山渓エリアの食や文化等を発信する事業など、定山渓温泉地域の魅力向上、来客誘致を促進する事業に対し支援を行っています。

また、定山渓関係団体等が一堂に会し、地域資源の掘り起こしや活用を考えるワークショップを開催するとともに、北海道内在住者を対象に定山渓に対する意識を把握するためのインターネット調査を実施し、今後の定山渓の振興に役立てていきます。

○新たな観光魅力づくり、観光資源の開発【観光振興担当】

観光客の札幌市での滞在をより充実させることを目的に、各関係団体とも連携のうえ、札幌の新たな観光魅力づくり、観光資源の開発を行っています。

(1) さっぽろスイーツ

平成 17 年度に設立された「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」を中心に、北海道の優れた食材を生かしたスイーツの開発や、国内外への P R 活動など様々な事業を展開しています。

(2) 札幌広域圏組合

札幌広域圏組合は、広域的な地域振興を図ることを目的に、札幌近郊 8 市町村から構成されている特別地方公共団体です。圏域交流や圏域振興については近郊市町村と密度の濃い連携のもと、互いにないものを補いながら、「点」としてではなく「面」として札幌圏を P R し、札幌圏への誘客を目指しています。また、同じ圏域を有する観光圏整備事業とも連携し、共通の取り組みとして協働で進めています。

主な事業としては、主要旅行会社担当者とともに札幌近郊の観光資源を視察し旅行商品化を促進する「観光資源現地視察」の実施や、観光セミナー(ROUND-TABLE about SAPPORO TOURISM)への積極的な参加、モデルコースを紹介したブログサイトの開設やスタンプラリーの実施などの事業があります。

(3) 中核都市連携による観光振興

北海道内の中核都市(函館市・旭川市・釧路市・帯広市・北見市・札幌市)による観光

担当者会議を平成 22 年 3 月に立ち上げました。今年度は、各市市民が利用する情報サイトを活用した相互交流の仕組みづくりやボランティア制度の情報共有などをを行う予定です。

(4) 観光圏整備事業

札幌市中心部などの都市としての魅力と周辺市町村に広がる大自然を観光資源とした札幌圏での 2 泊 3 日以上の滞在型観光を促進するため、周辺市町村や民間事業者と連携して「さっぽろ広域観光圏」を整備しました。「さっぽろ広域観光圏」では、少ない移動時間で都会と自然の両方を満喫できることをメリットとして各種事業を展開しています。平成 22 年度は観光資源を結ぶタクシープランや連泊型ツアーなどを実施するほか、花をテーマにしたマップ制作や観光資源やモデルコースの映像化など P R ツールを充実させるなど、圏域の魅力アップを図っていきます。

観光圏：観光圏とは、観光庁が観光圏整備法に基づいて実施している事業です。観光圏に認定されることによって、宿泊、観光資源、交通移動、案内・情報提供などのレベルアップを図る地域の取り組みに対する事業費補助、ホテル・旅館による旅行業者代理業の特例措置などのメリットがあります。

○各種まつりの企画実施【事業係】

(1) さっぽろライラックまつり

ライラックの開花時期に大通公園で開催。昭和 34 年に第 1 回が開かれ平成 22 年で 52 回を迎えました。

(2) さっぽろ夏まつり

昭和 29 年に夏の観光名物の新規開拓を目指し誕生。平成 22 年で 57 回を迎えました。イベントの中心となっているのがさっぽろ大通ビアガーデンと北海盆踊りで、都市公園で 4 大ビールメーカーが一同にビアガーデンを開催するのは全国的にも珍しいものです。

(3) さっぽろオータムフェスト（4 トピックス（p13）参照）

平成 20 年度から、札幌の新たな秋のイベントとして開催。今年で 3 回目の開催となります。「北海道・札幌の食」をメインテーマとして、道内各地の旬の食材、ご当地グルメやラーメン、道産のお酒などを提供します。

(4) さっぽろ菊まつり

昭和 38 年に菊作り愛好者が増える中、小規模な同好会活動が一本化され、全市的なスケールのイベントとして誕生。平成 22 年で 48 回を迎えます。さっぽろ地下街のオーロラタウンとポールタウン、地下鉄大通駅コンコースを会場とし、毎年数百点の菊が出展されています。

(5) さっぽろ雪まつり

昭和 25 年に始まったこのまつりは、札幌を代表する世界的なイベントで、平成 23 年で 62 回を迎えます。約 250 基の雪氷像が 7 日間にわたり市民や観光客を楽しませます。

○各種まつりの連絡調整【事業係】

(1) YOSAKOI ソーラン祭り

平成 4 年に始まったこの祭りも平成 22 年で 19 回を迎え、約 220 万人の来場者が訪れる札幌の初夏を彩る一大イベントに成長しました。

(2) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和 56 年に秋の観光シーズンとさっぽろ雪まつりをつなぐイベントとして誕生。平成 22 年で 30 回を迎えます。会場は大通公園、駅前通り及び南一条通りで、総数 45 万

個もの電球が飾られ北の街の夜を幻想的に彩ります。

(3) ミュンヘンクリスマス市 in Sapporo

平成 14 年にミュンヘン市との姉妹提携 30 周年を記念し開催されました。会場は大通西 2 丁目で、ドイツのクリスマス市にちなんだ物販が行われ、札幌とミュンヘンの国際的な交流の場として市民に親しまれています。

○「札幌コンベンションセンター」の運営管理【庶務係】

国際会議や各種学会等の大規模な会議を、需要に応じて柔軟に対応できる大型コンベンション施設を設置しています。

〔札幌コンベンションセンター〕

所在地	白石区東札幌 6 条 1 丁目
電話番号	(011) 817-1010
開設年月	平成 15 年 6 月
構造／延床面積	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下 1 階地上 3 階
開館時間	午前 9 時から午後 10 時まで（休館日 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日）
管理運営	S O R A - S C C 共同事業体（指定管理者）
主要施設	大ホール（シアター形式 2,500 人収容）、特別会議室（シアター形式 700 人収容） 中ホール（シアター形式 600 人収容）、小ホール（固定席 193 人収容） 会議室（15 室）、野外展示場、駐車場（475 台収容）
敷地面積	41,018.51 m ²
(URL)	http://www.sora-scc.jp/

○札幌国際ユースホステルの運営管理【庶務係】

来札観光客に低額な料金で、安全・快適な宿泊を提供する施設として札幌国際ユースホステルを設置しています。

〔札幌国際ユースホステル〕

所在地	豊平区豊平 6 条 6 丁目 5 番 35 号
電話番号	(011) 825-3120
開設年月	平成 12 年 4 月
構造／延床面積	鉄筋コンクリート造 地下 1 階付 4 階建／1,967.64 m ²
定員／利用期間	120 人／通年
管理運営	（財）北海道ユースホステル協会（指定管理者）
宿泊料金等	宿泊 3,800 円（中学生以下 3,300 円、4 歳未満無料）（冷暖房、シーツ料、税込）食事（朝食 630 円）
敷地面積	918.93 m ²
(URL)	http://www.youthhostel.or.jp/kokusai/

2 平成 22 年度観光文化局観光コンベンション部の機構・職員数

局長	部長	課長	係長	係員
観光文化局長 観光コンベンション部長	観光コンベンション部長	観光企画課長	庶務係長	3名
			計画担当係長	2名
			観光資源担当係長	1名
		観光振興担当課長	観光振興担当係長	3名
			観光誘致・受入担当係長	3名
			シティPR担当係長 (総務局東京事務所シティセールス担当係長兼務)	
		観光イベント担当課長	事業係長	4名
		定山渓地区担当課長 (南区定山渓出張所次長兼務)	定山渓地区担当係長 (南区定山渓出張所次長兼務)	
		調整担当部長		
		部長職 (札幌振興公社派遣)		
		課長職 (札幌観光協会派遣)		
1名	3名	5名	8名	16名
合計職員数 33名				

3 平成 22 年度予算の概要

《平成 22 年度観光コンベンション部 当初予算の概要》

予算総額 688,042 千円（対前年度比 24.3% の増）

観光振興費

・観光案内所運営費	54,012 千円	観光案内所の運営管理
・観光施設運営管理費	31,441 千円	定山渓観光施設の維持管理・指定管理施設修繕
・観光情報ポータルサイト運営費	11,389 千円	観光情報サイト「ようこそさっぽろ」運営管理
・観光企画宣伝費	40,359 千円	事務経費

観光行事助成費

・観光行事等助成費	129,600 千円	各種まつり・札幌観光協会への補助
-----------	------------	------------------

集客交流促進費

・ターゲット別国内観光プロモーション事業費	11,300 千円	首都圏等でのターゲット(一般客・旅行会社)別の観光 PR
・国際観光促進事業費	33,100 千円	東アジア圏や新興市場に対する観光 PR
・観光都市さっぽろ推進事業	45,923 千円	市民や観光事業者と連携した観光 PR
・さっぽろ広域観光圏推進事業	15,420 千円	広域観光圏を活用した PR 手法の調査
・観光活性化基礎調査費	4,600 千円	観光客満足度調査・観光産業経済効果調査
・観光マップ制作補助金	5,000 千円	札幌の観光マップ作成への補助

都市魅力向上費

・雪まつり大通会場雪像制作費	52,557 千円	大通会場雪像制作等
・雪まつり魅力アップ事業費	104,400 千円	つどーむ会場管理運営・イベントの充実
・大通公園スケーティングスクエア事業費	12,500 千円	大通公園にスケートリンク開設
・オータムフェスト事業費	30,000 千円	オータムフェストの開催及びイベントの充実
・ライラックまつり魅力アップ事業費	2,500 千円	ライラックまつりにおけるイベントの充実
・藻岩山魅力アップ事業費	28,700 千円	魅力アップ構想に基づくソフト事業
・定山渓観光客誘致関連事業費	6,000 千円	来客誘致活動補助・ブランド力強化事業
・平岡公園梅林ライトアップ事業	5,800 千円	梅林の夜間ライトアップ

コンベンション推進費

・コンベンションビューロー運営費補助金	45,041 千円	コンベンション誘致活動展開及び主催者招へい
・コンベンション誘致促進補助金	10,000 千円	コンベンション誘致促進のための開催費補助
・新世代コンベンション推進事業費	8,400 千円	企業間の国際会議等誘致補助

4 トピックス

○市民一体となった、まち全体の「おもてなし」の取り組み

本年5月末から6月上旬にかけて、「日本APEC北海道札幌貿易担当大臣会合及び高級実務者会合並びに関連会合」が札幌市を舞台に開催され、我が国を含め、21の国・地域から約1,000人の参加者が来札しました。札幌おもてなし委員会では、この「APEC貿易担当大臣会合及び関連会合」を札幌ファンを増やす絶好の機会ととらえ、参加者を温かく歓迎するおもてなしプロジェクトに取り組みました。

一つ目が、来札する参加者一人ひとりに、市民一人ひとりから歓迎の意を伝えるために、宿泊ホテルのお部屋に、市民手作りの「折り紙」を入れておこうというものです。同委員会の構成メンバーのほか、市内の児童会館や社会福祉協議会、ボランティア連絡協議会、そして一般市民から、なんと目標を大きく超える14,300もの作品が寄せられました。参加者からは、「毎日、異なる折り紙作品が差し入れられ、大変驚くとともに、おもてなしの気持ちを感じた」「札幌独自のおもてなしに感動した」等の声が寄せられています。

二つ目の取り組みが、「外国人向け飲食店マップ」の制作です。ホテルのコンシェルジュや観光案内所の職員の協力で、英語メニューと写真付きメニューをおいているレストランを中心に、コンビニやファーストフードレストランも含め、外国人が気持ち良く食事をとれる店を掲載。また、イスラムの方やベジタリアンの方にも対応できるレストランの情報も掲載しました。会期中、マップ片手に、ホテル近辺の飲食店に出かける参加者の姿が数多くみられたほか、在京/在札のチリ、フィリピン、米国大使/総領事より、お礼状が届きました。市民による温かく、札幌らしい「おもてなし」は、APEC参加者的心に届いたことでしょう。

また、観光客の満足度を向上させ、札幌のイメージアップとタクシー観光の利用促進を目的に、「(仮称) 北海道観光おもてなしタクシー乗務員認定制度」の札幌版の事業に取り組んでいます。これは、接客マナーと観光知識に優れたタクシー乗務員を「観光おもてなしタクシー」の資格を与え認定するもので、タクシーのおもてなしレベルアップを図り、ひいては札幌のまち全体の「おもてなし」のレベルアップを目指す取り組みです。平成23年4月から、「観光おもてなしタクシー」の第一号が札幌の街を走ることになります。

今後も、大勢の来札者が見込まれる大規模イベントや会議の際には、札幌流のおもてなしを行い、まち全体のおもてなしレベルアップに努めるとともに、まち全体で国内外の観光客を温かくお迎えする取り組みを行っていきます。



市民手作りの折り紙と市長から参加者へ向けたメッセージカード

○海外プロモーション活動について

札幌市では、国や道などと連携し、海外からの観光客を誘致するためのさまざまな事業を行っており、22年度は東アジア及び東南アジアを中心とした9カ国・地域を対象市場としています。

特に、本年7月に個人ビザの発給要件が緩和され、今後ますます来札観光客が期待される中国については、北京で富裕層を対象にしたラグジュアリーツアー（高級感のある旅行）のプロモーションを行いました。ホテルのスイートルームや高級レストラン、ゴルフやスキー、乗馬体験などの情報を、現地の旅行エージェントに提供し、「特別感のある」魅力的な商品造成につなげてもらうことを目的に実施しています。

また、上海万博を契機としたプロモーション活動も予定しています。9月3日から5日までの3日間、日本館イベントステージにおいて「北海道の日」を主催者の一員として開催し、北海道・札幌の魅力を幅広くPRします。さらに、上海の有力企業やメディア等を対象に、札幌の食を中心とした観光セミナーを実施し、インセンティブツアーや産業観光の誘致につなげていきたいと考えています。

一方、新規市場を開拓するために、国が進めるビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）で新たに地方連携事業の対象となったインド・ロシア・マレーシアに向けたプロモーションも予定しています。

すでに相当数の入り込みがあり、これまでにも誘客活動を行ってきたマレーシアについては、22年度、初めてメディア招請を行い、広く一般市民に札幌の魅力をPRすることで、旅行意欲を喚起します。近年、スキーパーの入り込みが増加している極東ロシア（ハバロフスク及びユジノサハリンスク）については、スキーや冬季観光の魅力を伝える現地プロモーションを行います。また、将来的に中国と並ぶ巨大市場となり得るインドについては、旅行先としての札幌の認知度向上を目指すとともに、併せて市場調査を行い、より効果的なPR方法や、より魅力的な観光素材を追及していく予定です。

○さっぽろオータムフェスト

「さっぽろオータムフェスト」は、北海道全体の活性化に貢献することを目的として、「北海道・札幌の食」をテーマに、道内市町村や民間事業者が連携して開催する、旬の食材やご当地グルメを一堂に取り揃えた秋の一大イベントです。

2回目となる昨年は大型連休（シルバーウィーク）や好天にも恵まれ、目標来場者数の80万人を大きく上回る130万4千人の市民・観光客が集まり、秋の大型イベントに成長しました。

会場では、北海道内各地の新・ご当地グルメ、道産小麦100%麺を使用した地域色溢れるラーメン、札幌発のスープカレーやスイーツなどを提供し、大勢の市民や観光客に、北海道・札幌の味を楽しんでいただきました。

また、北海道の酒、酒肴（おつまみ）というテーマでは、道内酒蔵のとておき日本酒、ワインの飲み比べや、道産食材を使用した酒肴の提供を行ったほか、「すすきのグルメグラソプリ」では参加店が「すすきのグルメ」の技を競い、市民・観光客の目と舌を楽しませました。また、「さっぽろタパス」とのコラボレーションによる、タパス（おつまみ）を世界10カ国以上のワインとともに楽しむ催しも人気を集めました。

地元アーティストによる生演奏を聴きながら、昼のオープンカフェ、夜の特設バーを楽しむことができる空間づくりも、好評を得たところです。

道内100以上の市町村から自慢の特産品や加工品等を集めた「札幌大通ふるさと市場」は、昨年に引き続き大好評で、多くの人が各地域の「食」ブランドを知って実際に味わう機会を提供することできました。

新設した4丁目会場では、札幌市内・近郊の飲食店や農産物等のPRを目的として、すすきの・円山のおすすめグルメ店を紹介するコンシェルジュ機能、日替わりで人気シェフたちのこだわりの味を提供する「さっぽろシェフズキッチン」、近郊農家の採れたて農産物、陶器、花などの販売を、初めて行いました。特に手ごろな価格で人気店の料理を食べることができるシェフズキッチンは人気が集中し、売り切れ続出となりました。

また、地元飲食店との連携の試みとして、会場以外でもイベント展開を行い、円山エリアのレストラン10店がオータムフェスト特別限定の「円山オータムランチ」を提供したほか、札幌市内ホテルや大通の百貨店で、道産食材の持ち味を生かしたメニューを提供するといった、コラボレーション企画を実施しました。また、北海道ファミリーマートとの連携により、企画商品の期間限定販売も行いました。

さらに、イベント終了後に、さっぽろタパス実行委員会の常設バー「Barcom Sapporo」内に、旬の食材・加工品の販売や、素材を生かした調理品を提供する「さっぽろオータムフェストサテライトスペース」をオープンしました。これにより、オータムフェストを一年中味わうことが可能になり、道産食材ブランドのPRを継続的に実施しています。

○（仮称）札幌市観光振興プランの策定

札幌市では、観光を通じた豊かなまちづくりを進めるため「（仮称）札幌市観光振興プラン」を策定する予定です。これは、今後4～5年間の中で市民、企業、行政が連携して取り組むアクションプランです。

現在、23年度中の策定を目指して、札幌がおかれている状況の分析や、今後目指すべき方向性などの検討を進めています。また、7月には北海道大学観光学高等研究センターと連携して、「観光創造研究会」を発足し、札幌が持つ観光資源を様々な視点から見つめなおす取り組みを開始しました。

札幌は、北海道の食と文化が集中し、また、宿泊施設や交通網が充実した便利な都会でありながらも豊かな自然と共に存しているなど、多種多様な魅力をたくさん持っています。これらを最大限に活用することで、集客交流のより一層の発展を目指します。

第2章 観光客の入り込み状況

1 平成21年度の動向

(1) 概況

- 平成21年度に札幌を訪れた観光客は1,301万4千人（前年度比0.1%増）。

主な特徴は以下のとおり

- 交通機関別入り込み状況を前年度と比較すると、乗用車による入り込みが3.0%増加している一方で、航空機による入り込みが5.3%、貸切バスによる入り込みが1.1%、JRによる入り込みが2.1%、路線バスによる入り込みが6.7%、それぞれ減少した。
- 日帰り客・宿泊客別入り込み状況を前年度と比較すると、日帰り客は2.6%の増加、宿泊客が2.3%の減少となった。
- 道内客・道外客別の構成割合は、道内客は55.8%、道外客は44.2%と、ほぼ前年並みとなった。

(2) 増加の要因

- ・景気後退や新型インフルエンザ等の影響が、年度の後半に向けて緩和の傾向がみられたこと
- ・高速道路ETC休日特別割引制度開始に伴う乗用車による観光客の増加
- ・21年9月の大型連休（最大5連休）
- ・ホッキョクグマの双子などによる円山動物園の入園者数の大幅増
- ・来場者数が大幅に増加した「さっぽろオータムフェスト」（対前年度比58万人、80.1%増加）や、過去最高の観客数となった「さっぽろ雪まつり」（対前年度比35万3千人、17.0%増加）など、主要イベントの集客が好調だったこと

＜来札観光客数の算出方法＞

札幌市の観光客入り込み数は、交通機関の輸送実績を基に算出しています。具体的には、航空会社、鉄道、路線バス、貸切バスの輸送実績及び国道、高速道路の自動車通行台数に、「観光客率」（平成15～16年度にかけて行った「集客交流入り込み動態調査」により算出した交通機関の利用者数に占める観光客の割合）を乗じて算出しています。

なお、各数字は四捨五入のため合計が一致しないことがあります。

2 観光客の入り込み状況

(1) 来札観光客数の推移

年 度	観光客数 (千人)	前年度比 (%)
平成 7 (1995) 年度	12,696	102.9
8 (1996) 年度	13,054	102.8
9 (1997) 年度	13,106	100.4
10 (1998) 年度	13,081	99.8
11 (1999) 年度	13,304	101.7
12 (2000) 年度	13,050	98.1
13 (2001) 年度	13,280	101.8
14 (2002) 年度	13,251	99.8
15 (2003) 年度	13,683	103.3
16 (2004) 年度	13,302	97.2
17 (2005) 年度	13,323	100.2
18 (2006) 年度	14,104	105.9
19 (2007) 年度	13,781	97.7
20 (2008) 年度	12,995	94.3
21 (2009) 年度	13,014	100.1

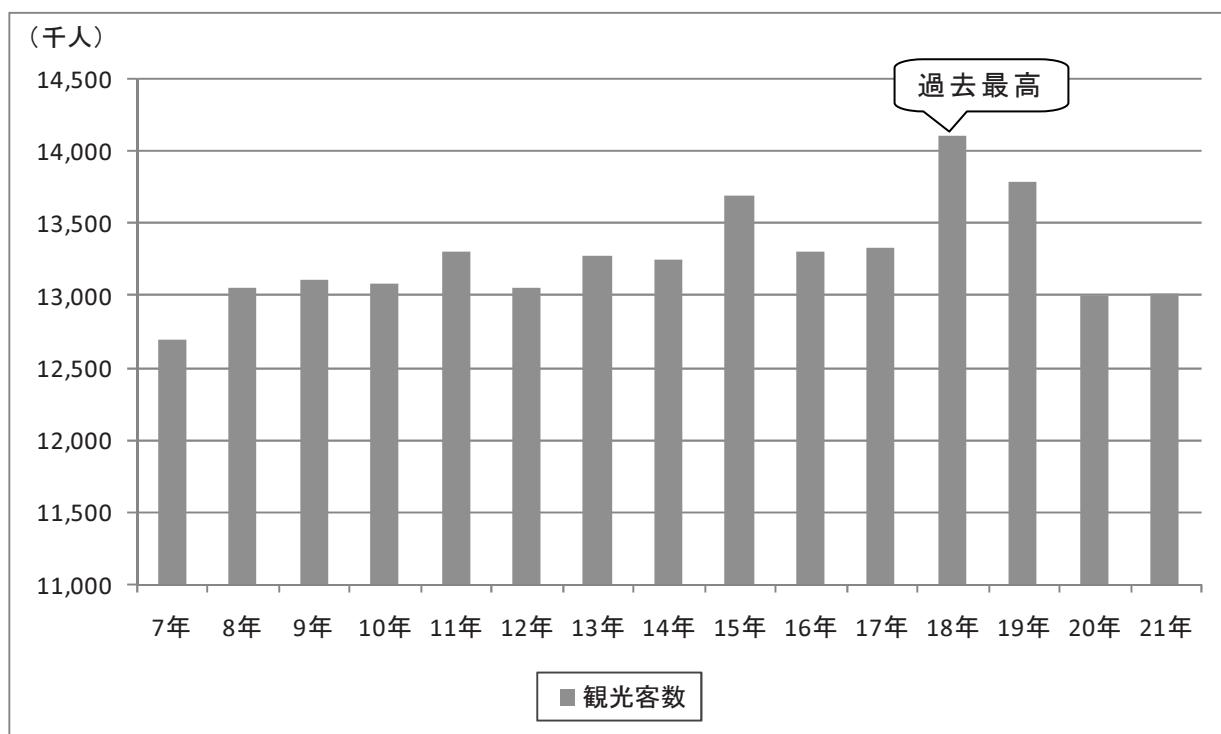


図 2-1 来札観光客数の推移

(2) 月別入り込み状況

(単位 : 千人)

年度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
17年度	13,323	910	1,134	1,256	1,412	1,404	1,355	1,309	1,079	884	825	852	903
18年度	14,104	968	1,204	1,324	1,479	1,517	1,431	1,334	1,118	951	879	932	967
19年度	13,781	919	1,154	1,310	1,452	1,460	1,390	1,327	1,098	918	878	928	947
20年度	12,995	933	1,134	1,260	1,393	1,404	1,337	1,199	1,014	829	812	826	854
21年度	13,014	879	1,084	1,205	1,409	1,456	1,402	1,224	1,013	825	803	861	853
前年度比 (%)	100.1	94.2	95.6	95.6	101.1	103.7	104.9	102.1	99.9	99.5	98.9	104.2	99.9

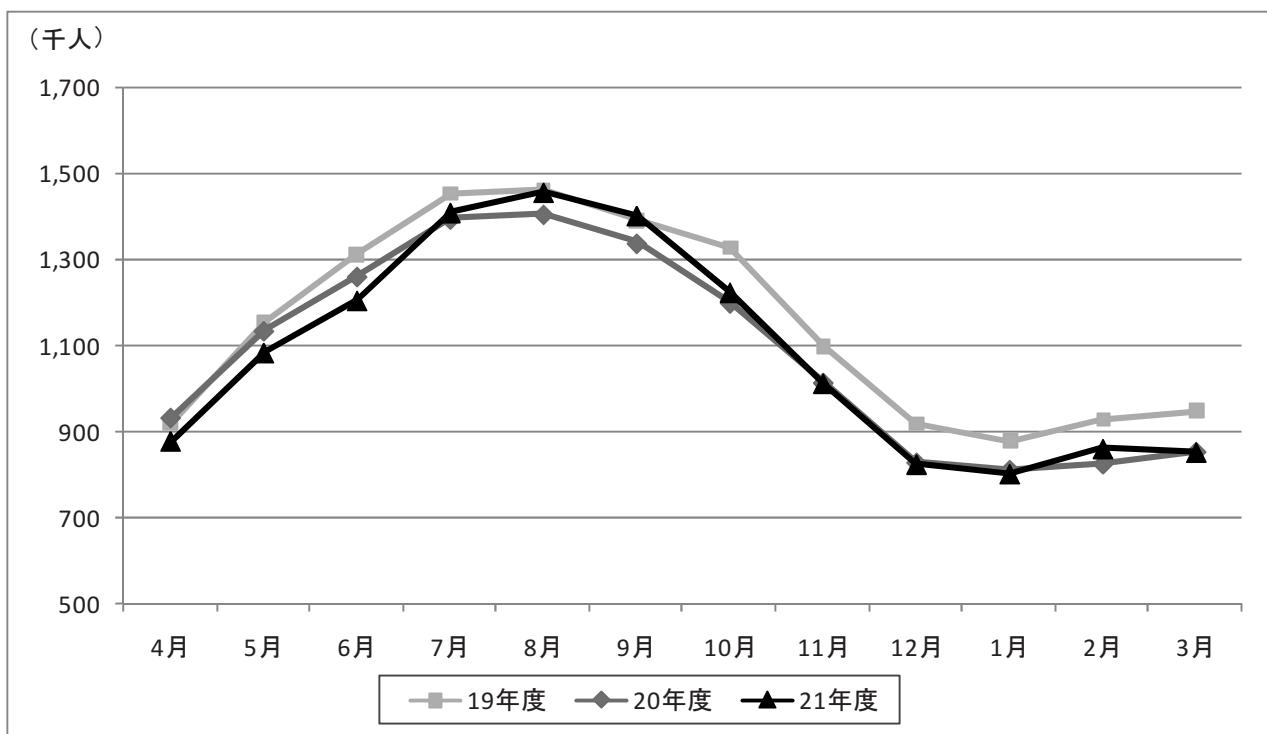


図 2-2 月別入り込み数推移

(3) 交通機関別入り込み状況

年 度	合 計	乗用車	J R	航空機	貸切バス	路線バス
観光客数 (千人)						
17 年度	13,323	6,606	2,857	97	2,842	921
18 年度	14,104	6,735	2,870	102	3,304	1,093
19 年度	13,781	6,735	2,844	97	3,081	1,024
20 年度	12,995	6,147	2,801	95	2,926	1,026
21 年度	13,014	6,330	2,743	90	2,894	957
構 成 比 (%)						
17 年度	100.0	49.6	21.5	0.7	21.3	6.9
18 年度	100.0	47.8	20.3	0.7	23.4	7.8
19 年度	100.0	48.9	20.6	0.7	22.4	7.4
20 年度	100.0	47.3	21.6	0.7	22.5	7.9
21 年度	100.0	48.6	21.1	0.7	22.2	7.4
前 年 度 比 (%)						
17 年度	100.2	97.2	101.1	102.1	110.2	91.6
18 年度	105.9	101.9	100.5	105.2	116.3	118.7
19 年度	97.7	100.0	99.1	95.1	93.3	93.7
20 年度	94.3	91.3	98.5	97.9	95.0	100.2
21 年度	100.1	103.0	97.9	94.7	98.9	93.3

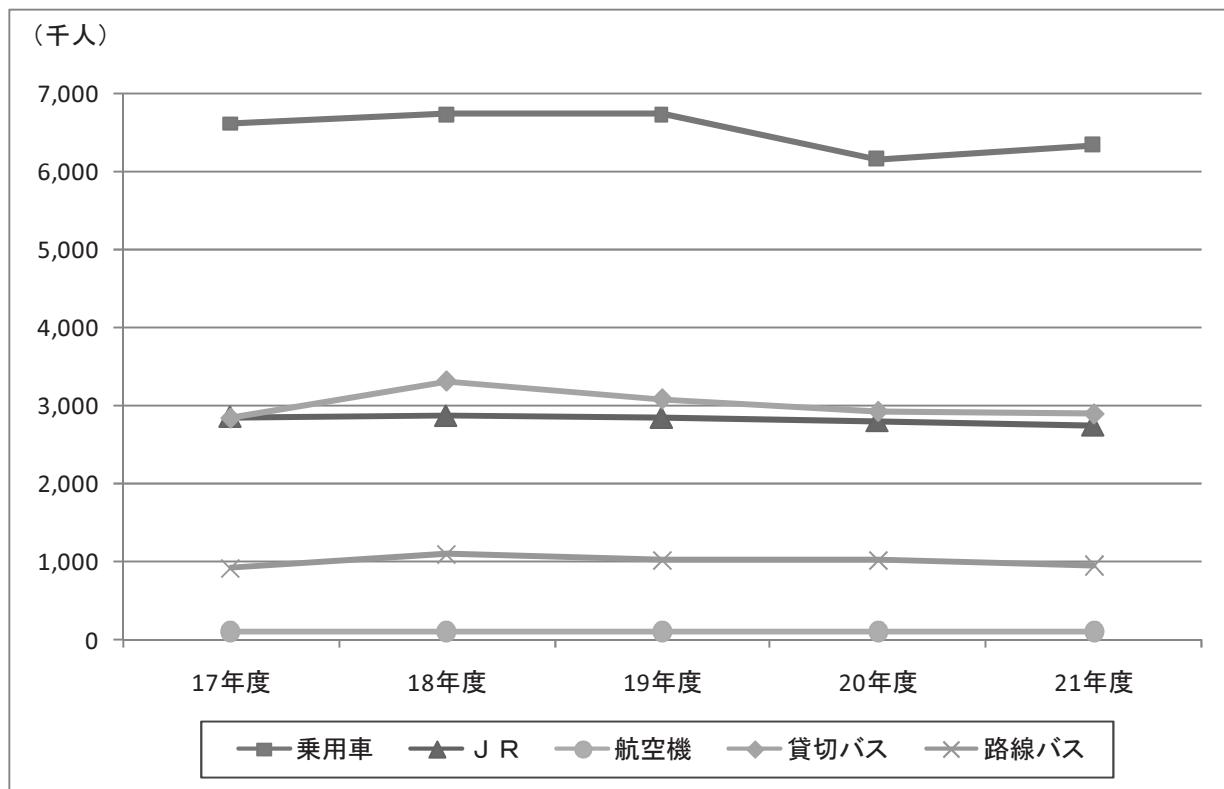


図 2-3 交通機関別入り込み数推移

【交通機関別入り込み数・月別内訳】

(単位：千人)

月	合計	乗用車	J R	航空機	貸切バス	路線バス
平成 21 年 4 月	879	474.9	160.1	8.8	137.8	97.0
5 月	1,084	570.5	168.7	10.6	229.3	104.4
6 月	1,205	558.1	219.3	8.9	331.4	87.5
7 月	1,409	656.5	293.3	6.7	372.3	79.8
8 月	1,456	750.9	317.4	6.8	293.4	87.9
9 月	1,402	668.8	269.7	7.9	375.5	80.6
10 月	1,224	634.3	223.7	7.6	282.8	76.0
11 月	1,013	546.3	228.2	6.5	159.1	73.3
12 月	825	389.4	221.0	6.5	141.0	67.4
平成 22 年 1 月	803	358.0	208.3	6.3	160.9	69.1
2 月	861	318.6	207.5	6.6	266.8	61.5
3 月	853	403.7	225.9	6.9	143.6	72.7
年度計	13,014	6,330	2,743	90	2,894	957

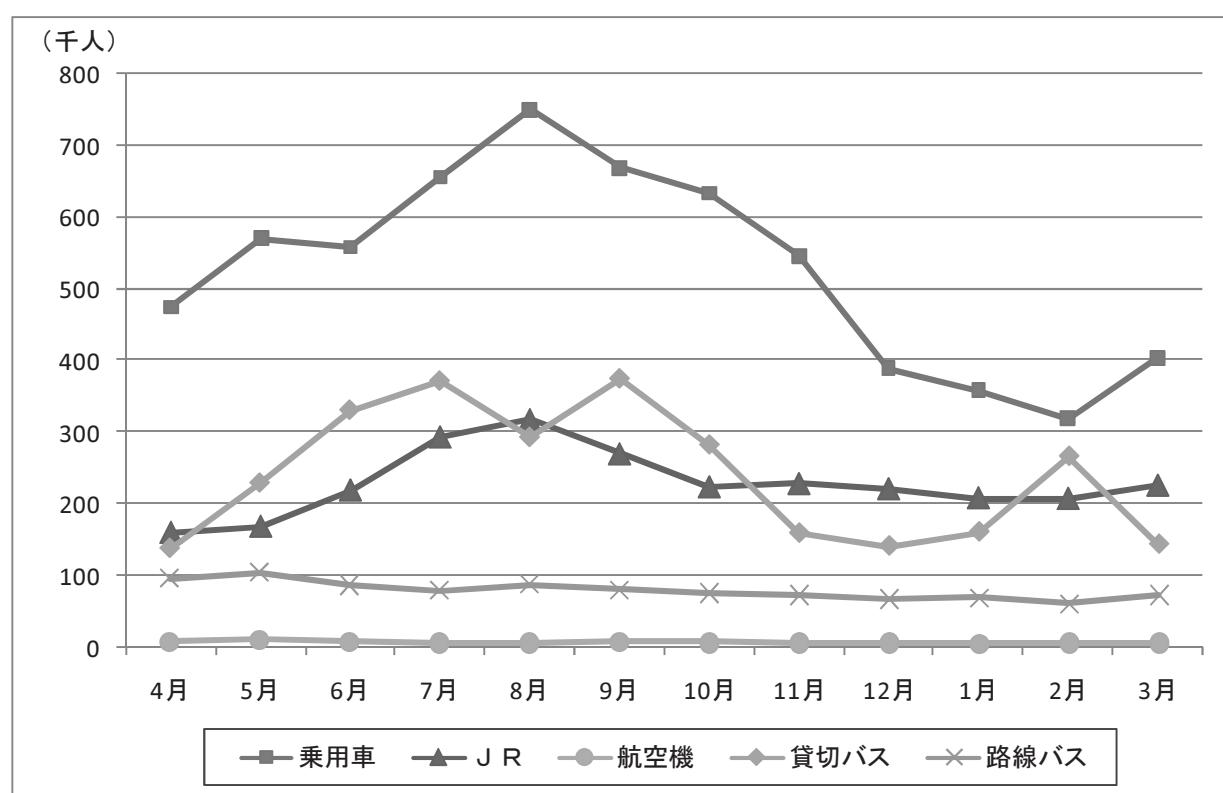


図 2-4 交通機関別入り込み数月別推移

(4) 日帰り客・宿泊客別入り込み状況

年 度	観光客数(千人)			構 成 比 (%)			前 年 度 比 (%)		
	合 計	日 帰 り 客	宿 泊 客	合 計	日 帰 り 客	宿 泊 客	合 計	日 帰 り 客	宿 泊 客
17年度	13,323	6,839	6,484	100.0	51.3	48.7	100.2	101.3	99.0
18年度	14,104	6,986	7,118	100.0	49.5	50.5	105.9	102.1	109.8
19年度	13,781	7,303	6,478	100.0	53.0	47.0	97.7	104.5	91.0
20年度	12,995	6,459	6,536	100.0	49.7	50.3	94.3	88.4	100.9
21年度	13,014	6,630	6,384	100.0	50.9	49.1	100.1	102.6	97.7

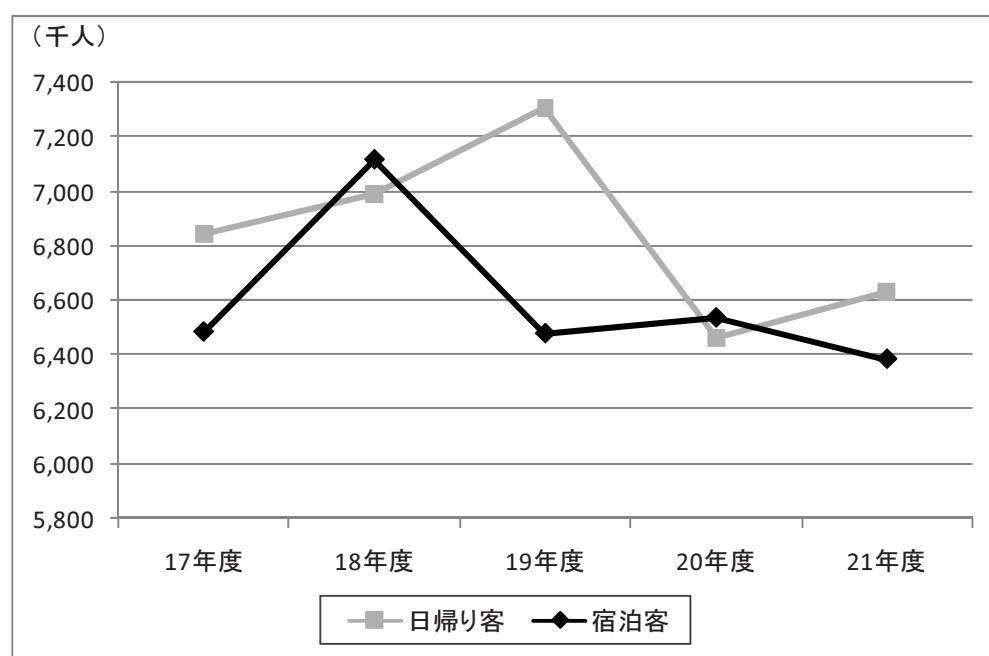


図 2-5 日帰り客・宿泊客別入り込み数推移

【日帰り客・宿泊客別入り込み数・月別内訳】

(単位：千人)

月	合 計	日帰り客	宿泊客
平成 21 年 4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 10 月 11 月 12 月	879	541.0	337.6
	1,084	584.4	499.1
	1,205	615.7	589.5
	1,409	713.7	694.9
	1,456	696.4	760.0
	1,402	697.4	705.1
	1,224	669.5	554.9
	1,013	568.9	444.5
	825	406.1	419.2
	803	387.6	415.0
	861	339.1	521.9
	853	411.0	441.8
年度計	13,014	6,630	6,384

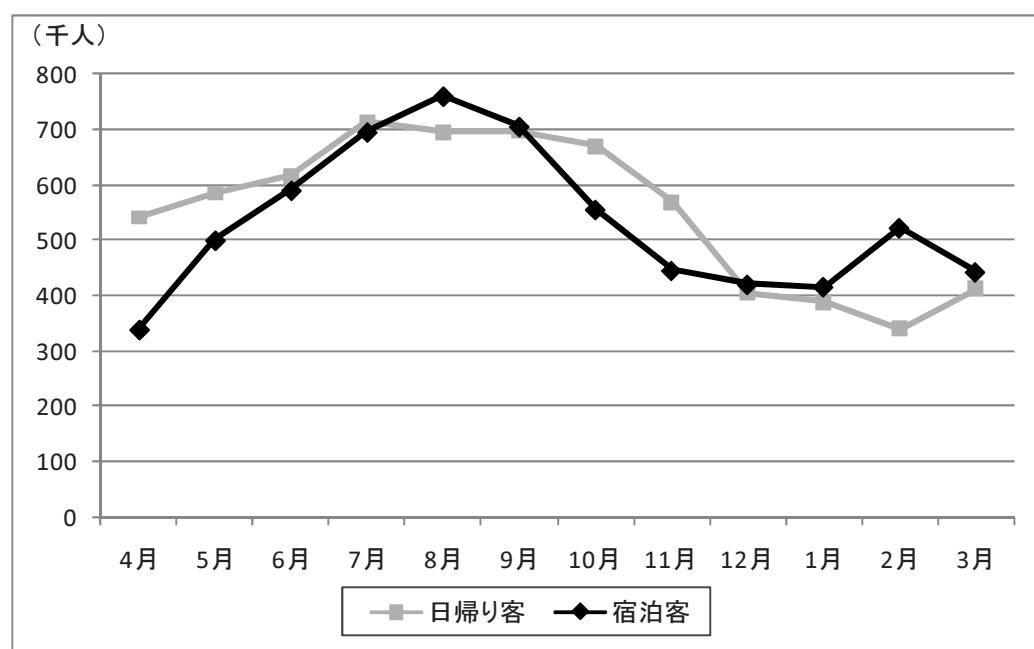


図 2-6 H21 日帰り客・宿泊客別入り込み数月別推移

(5) 道内客・道外客別入り込み状況

年 度	観光客数(千人)			構 成 比 (%)			前 年 比 (%)		
	合計	道内客	道外客	合計	道内客	道外客	合計	道内客	道外客
17年度	13,323	7,403	5,920	100.0	55.6	44.4	100.2	100.0	100.4
18年度	14,104	7,706	6,398	100.0	54.6	45.4	105.9	104.1	108.1
19年度	13,781	7,677	6,104	100.0	55.7	44.3	97.7	99.6	95.4
20年度	12,995	7,280	5,715	100.0	56.0	44.0	94.3	94.8	93.6
21年度	13,014	7,256	5,758	100.0	55.8	44.2	100.1	99.7	100.8

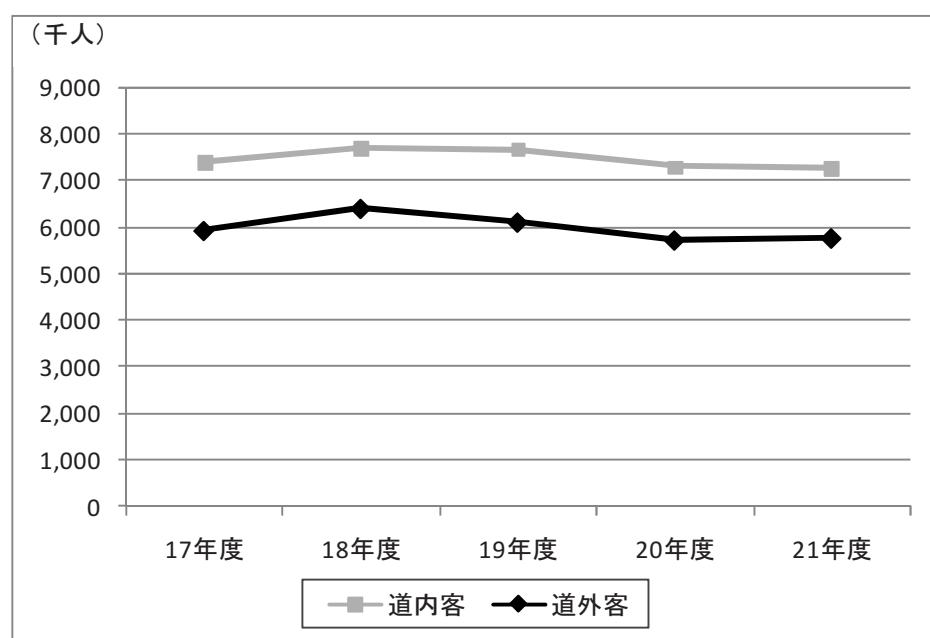


図 2-7 道内客・道外客別入り込み数推移

【道内客・道外客別入り込み数・月別内訳】

(単位：千人)

月	合 計	道内客	道外客
平成 21 年 4 月	879	586.8	291.8
	5 月	699.0	384.5
	6 月	644.4	560.8
	7 月	680.8	727.8
	8 月	709.9	746.5
	9 月	732.0	670.5
	10 月	683.4	541.0
	11 月	601.4	412.0
	12 月	486.2	339.1
	平成 22 年 1 月	468.4	334.2
	2 月	453.0	408.0
	3 月	511.0	341.8
年度計	13,014	7,256	5,758

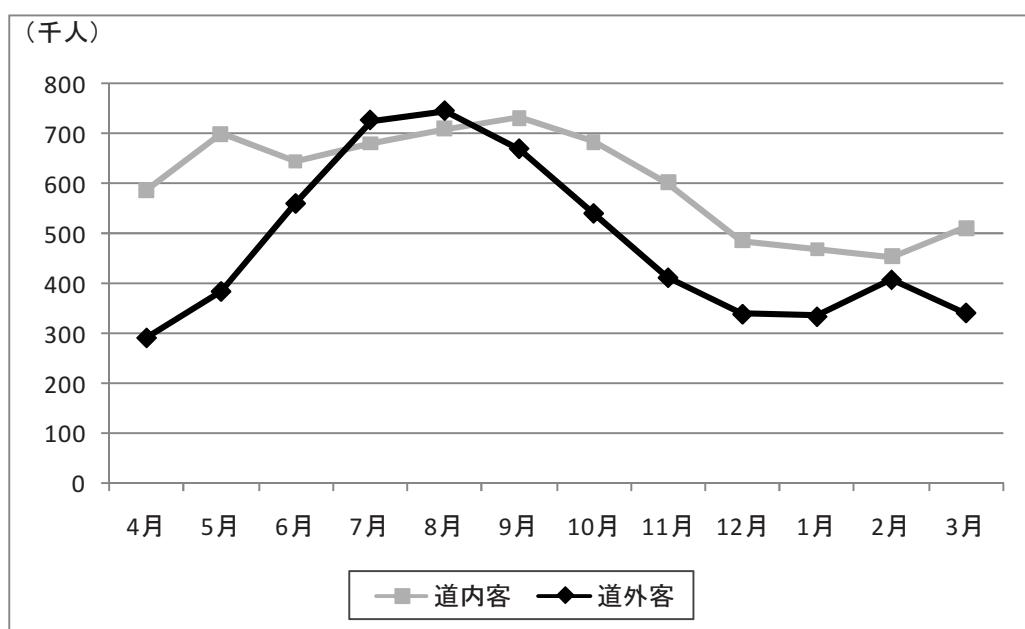


図 2-8 H21 道内客・道外客別入り込み数月別推移

第3章 宿泊施設

1 宿泊調査の概要

(1) 宿泊施設の定義

すべての宿泊施設は「旅館業法」により法的規制を受けています。本書では「旅館業法」の対象施設のうち、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設を除いたものを調査対象とし、以下のとおり分類しています。

ア 構造や設備による分類

- (ア) ホテル 全客室の過半数を洋室が占めている施設（簡易宿所を除く）。
- (イ) 旅館 全客室の過半数を和室が占めている施設（簡易宿所を除く）。
- (ウ) 簡易宿所 カプセルホテル、ユースホステル、ペンション。

イ 運営形態等による分類

- (ア) 政府登録施設 「国際観光ホテル整備法」に基づいて国土交通大臣の登録を受けた宿泊施設。
- (イ) 一般施設 宿泊施設のうち、政府登録施設と公的施設を除いたもの。
- (ウ) 公的施設 公共的性格を有する宿泊施設。国・地方公共団体の出資により管理運営される宿泊施設、および各種組合員（民間企業も含む）用の保養所。

(2) 調査の内容

ア 方法 市内全宿泊施設に調査票を送付し、回答を集計

イ 時期 上期（4月～9月）と下期（10月～翌年3月）の年2回実施

ウ 項目 客室規模、利用者数、外国人の利用状況、修学旅行生の利用状況

2 宿泊施設の状況

(1) 軒数、客室数、定員数の年度別推移

各年度末現在

年度	合計			ホテル			旅館			簡易宿所		
	軒数 (軒)	客室数 (室)	定員数 (人)									
17年度	197	22,960	45,586	124	19,447	33,060	60	2,849	11,242	13	664	1,284
18年度	206	24,977	47,419	132	21,559	34,775	60	2,891	11,283	14	527	1,361
19年度	194	26,025	49,516	130	22,382	36,655	50	2,904	11,412	14	739	1,449
20年度	194	26,107	48,963	132	22,629	36,723	47	2,673	10,605	15	805	1,635
21年度	193	26,321	49,310	129	22,848	37,064	47	2,656	10,659	17	817	1,587

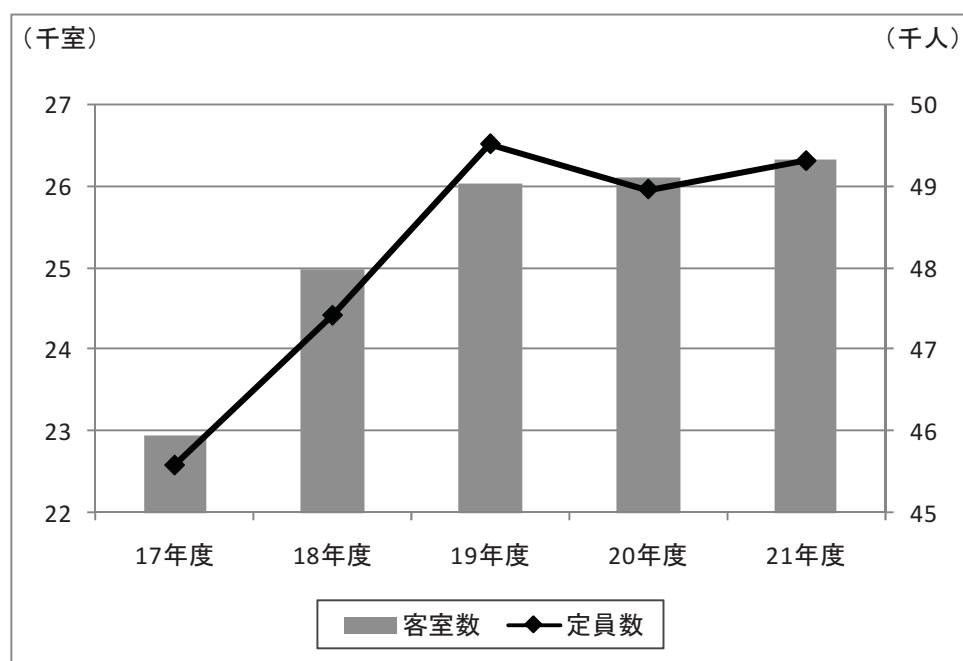


図 3-1 市内宿泊施設の客室数・定員数の推移

3 宿泊施設利用状況

(1) 宿泊施設利用者数の年度別推移

年 度	利用者数 (千人)	前年度比 (%)
17 年度	9,682	97.3%
18 年度	10,096	104.3%
19 年度	9,242	91.5%
20 年度	9,737	105.4%
21 年度	9,483	97.4%

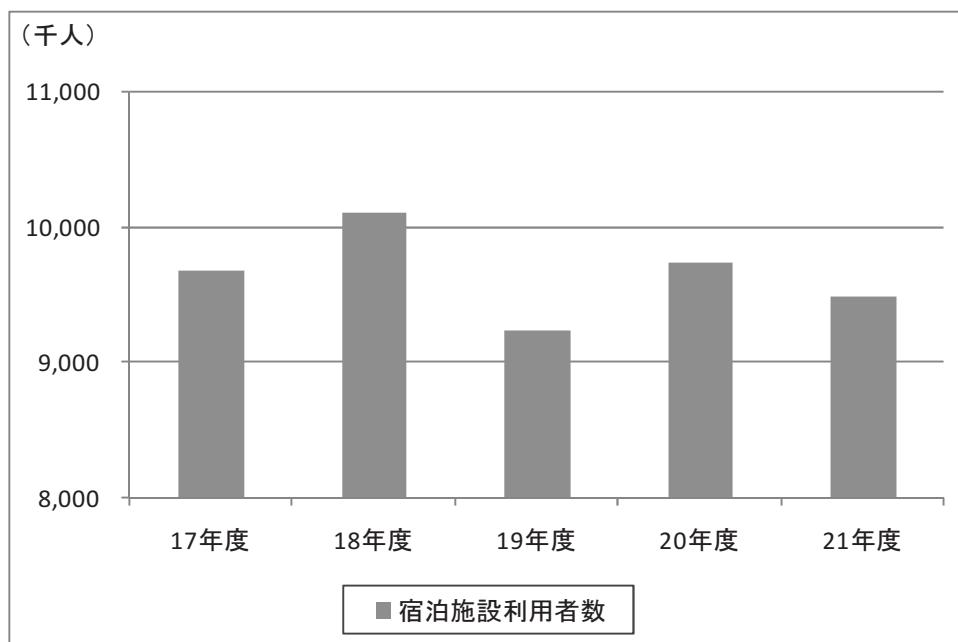


図 3-2 宿泊施設利用者数の推移

ここに掲載する「宿泊施設利用者数」は、市内のホテル・旅館における一般観光客、外国人、修学旅行生、市民利用者等の宿泊者数を調査したものであり、第2章の観光客入り込み数とは一致しません。

また、すべての宿泊施設からは回答が得られないため、回答のあったおよそ8割の宿泊施設の宿泊施設利用者数を宿泊可能定員数で除して求めた定員利用率を、回答のなかった宿泊施設の定員数に乗じて回答のなかった宿泊施設の利用状況を推計し、それぞれを積み上げて算出しています。

$$\text{定員利用率} = \frac{\text{宿泊施設利用者数}}{\text{宿泊可能定員数}}$$

(2) 市内宿泊施設の客室稼働率

(単位 : %)

年度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政府登録施設													
17年度	80.4	58.9	78.6	90.0	92.2	91.3	97.5	82.8	71.0	71.6	66.4	89.6	75.9
18年度	76.8	52.5	69.4	79.0	82.1	84.5	90.3	87.2	72.4	69.5	68.3	90.3	77.9
19年度	77.8	52.3	72.3	82.2	83.5	84.9	87.5	85.4	75.3	76.0	69.1	89.9	75.5
20年度	75.2	56.4	75.5	85.2	87.5	88.0	87.1	83.6	67.8	68.0	61.7	76.1	63.2
21年度	75.5	52.0	72.7	79.9	84.3	85.4	89.1	81.7	70.1	70.6	64.1	87.2	70.3
一般施設													
17年度	69.0	50.7	63.4	78.7	80.8	80.0	86.4	73.2	62.2	59.9	57.4	72.0	64.1
18年度	72.8	53.9	68.8	83.6	89.5	89.6	94.1	78.3	63.2	56.4	53.4	78.0	64.4
19年度	66.6	51.1	64.3	74.5	76.9	80.4	83.7	67.0	60.0	55.6	52.7	75.2	59.7
20年度	66.3	48.0	65.7	77.0	81.6	79.5	80.0	70.9	59.1	56.8	51.3	66.8	57.0
21年度	63.6	46.0	58.1	68.8	74.7	75.4	79.2	64.9	59.7	56.1	52.1	70.9	57.8
公的施設													
17年度	62.6	45.7	58.2	72.0	87.0	76.0	76.9	64.6	52.7	47.2	48.3	65.8	57.7
18年度	71.0	55.9	67.5	86.7	93.4	94.0	91.2	75.8	62.8	49.0	53.4	76.7	62.5
19年度	68.6	50.0	65.7	82.4	85.4	87.7	88.9	69.9	61.9	49.2	52.0	72.2	59.7
20年度	63.7	47.7	63.9	76.0	78.2	80.1	76.6	69.5	57.7	44.0	48.2	62.7	51.6
21年度	58.1	40.1	56.2	66.7	74.2	71.0	73.0	63.6	51.9	42.4	47.0	60.6	49.6

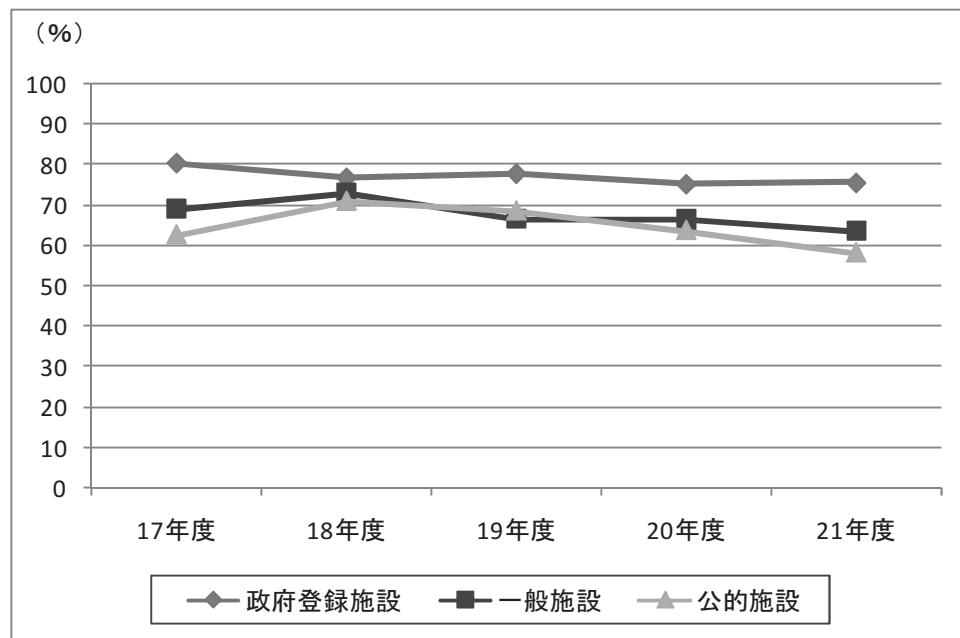


図 3-3 市内宿泊施設の客室稼働率推移

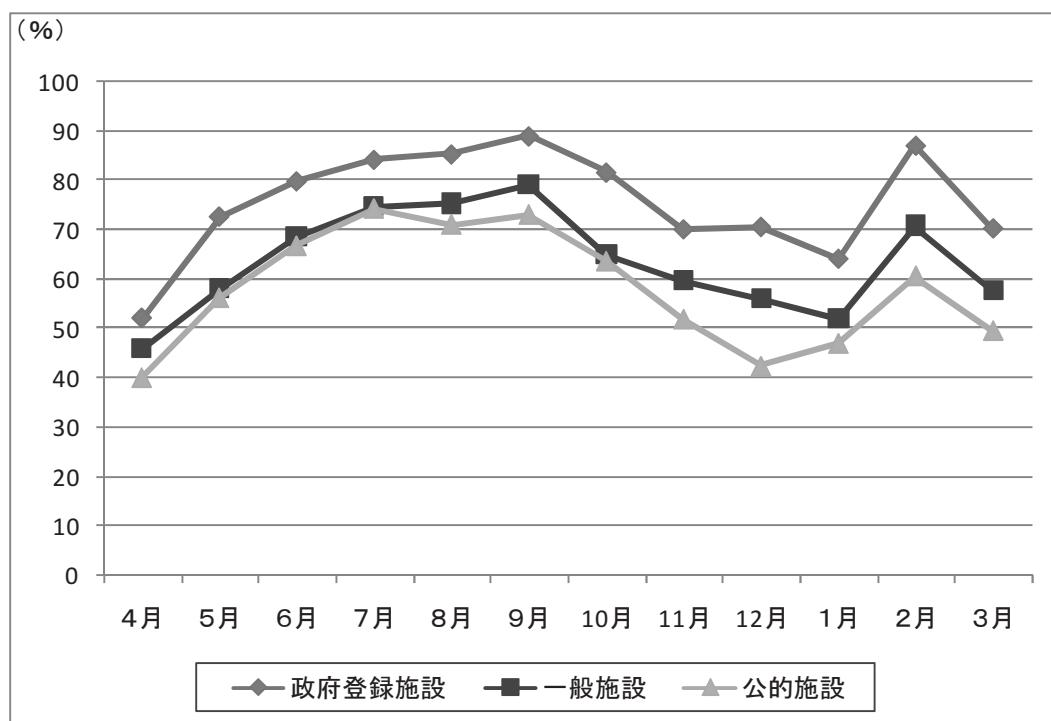


図 3-4 H21 市内宿泊施設の月別客室稼働率

4 外国人の宿泊状況

ここに掲載する外国人宿泊数には、観光以外の目的での利用者も含みます。なお、回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める外国人の宿泊数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊数を推計することが適当ではないため、およそ8割の回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

(1) 外国人の宿泊数年度別推移

年 度	延べ宿泊者数 (人)	前年度比	宿泊実人数 (人)	平均宿泊 日数 (日)
17年度	490,083	128.5%	428,868	1.14
18年度	559,272	114.1%	501,847	1.11
19年度	752,081	134.5%	659,833	1.14
20年度	766,854	102.0%	659,251	1.16
21年度	649,210	84.7%	501,517	1.29

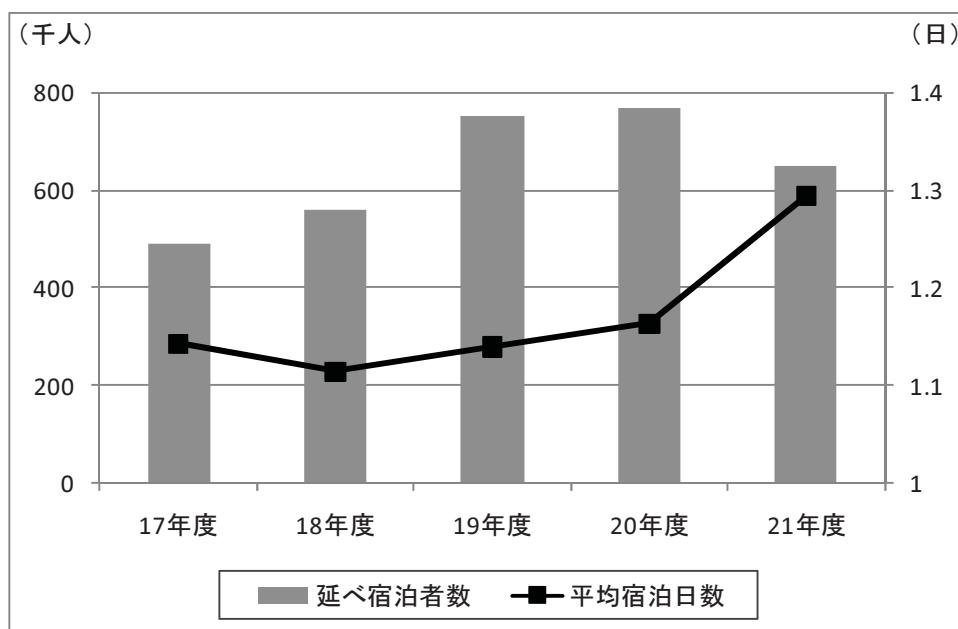


図 3-5 外国人延べ宿泊者数推移

(2) 外国人の宿泊数月別内訳

(単位：人)

月	延べ宿泊者数 (人)	構成比	前年度比	20年度 延べ宿泊者数 (人)
平成 21 年 4 月	35,015	5.4%	87.4%	40,042
	5 月	5.9%	60.7%	62,832
	6 月	4.7%	48.5%	63,132
	7 月	11.0%	64.9%	110,035
	8 月	11.5%	76.7%	97,566
	9 月	5.8%	72.1%	51,844
	10 月	8.1%	78.8%	66,477
	11 月	6.1%	90.5%	43,992
	12 月	12.6%	111.8%	73,088
	平成 22 年 1 月	8.6%	77.1%	72,087
	2 月	15.0%	172.5%	56,426
	3 月	5.4%	119.4%	29,333
年度計	649,210	100.0%	84.7%	766,854

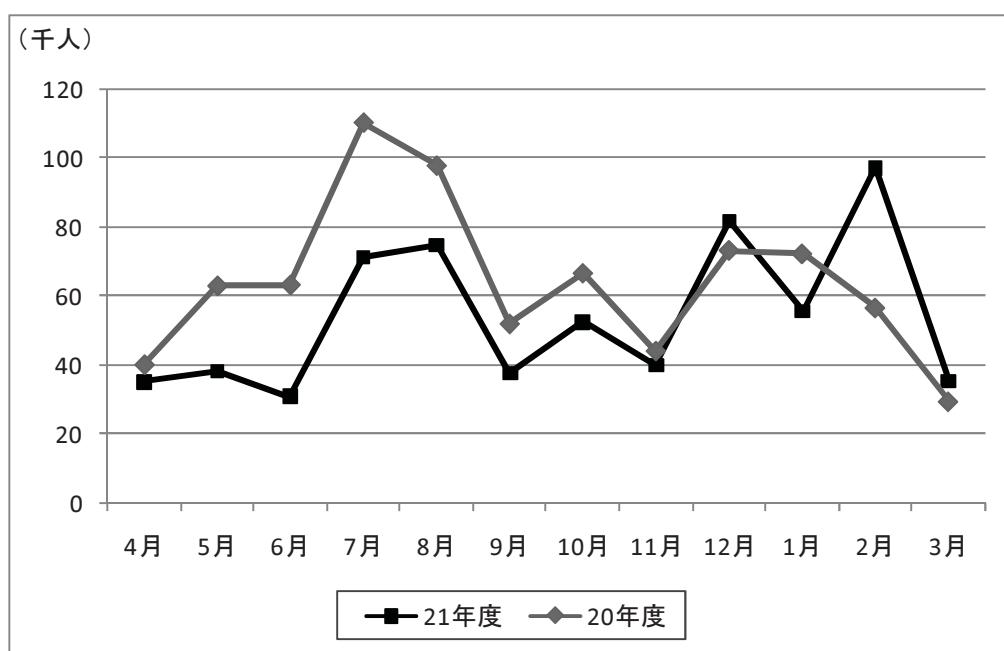


図 3-6 月別外国人延べ宿泊者数推移

(3) 外国人の宿泊数発地別内訳

区分	延べ宿泊者数(人)	構成比	延べ宿泊者数 前年度比	宿泊実人数(人)	平均宿泊日数(日)	前年度 延べ宿泊者数(人)
合計	649,210	100.0%	84.7%	501,517	1.29	766,854
(州 別)						
アジア	584,046	90.0%	85.3%	455,885	1.28	684,831
北米	22,485	3.5%	95.0%	15,251	1.47	23,672
ヨーロッパ	20,861	3.2%	78.5%	14,658	1.42	26,564
オセアニア	9,479	1.5%	104.9%	6,869	1.38	9,039
中南米	977	0.2%	79.8%	655	1.49	1,225
アフリカ	254	0.0%	31.8%	134	1.90	798
不明	11,108	1.7%	53.6%	8,065	1.38	20,725
(国・地域別)						
香港	186,210	28.7%	90.5%	135,226	1.38	205,809
台湾	164,881	25.4%	71.0%	134,776	1.22	232,157
中国	88,990	13.7%	156.5%	71,999	1.24	56,870
韓国	69,737	10.7%	66.5%	54,532	1.28	104,881
シンガポール	42,113	6.5%	82.1%	35,243	1.19	51,323
アメリカ合衆国	18,875	2.9%	94.6%	12,724	1.48	19,952
タイ	11,571	1.8%	172.4%	8,229	1.41	6,710
マレーシア	9,684	1.5%	72.9%	7,459	1.30	13,288
オーストラリア	7,534	1.2%	96.9%	5,192	1.45	7,775
ロシア	6,095	0.9%	78.8%	4,625	1.32	7,736
カナダ	3,610	0.6%	97.0%	2,527	1.43	3,720
イギリス	2,792	0.4%	74.1%	2,090	1.34	3,769
ドイツ	2,406	0.4%	81.0%	1,616	1.49	2,971
フランス	1,976	0.3%	100.1%	1,414	1.40	1,975
フィリピン	750	0.1%	208.3%	466	1.61	360
中南米	977	0.2%	79.8%	655	1.49	1,225
アフリカ	254	0.0%	31.8%	134	1.90	798
その他	19,647	3.0%	79.2%	14,545	1.35	24,810
不明	11,108	1.7%	53.6%	8,065	1.38	20,725

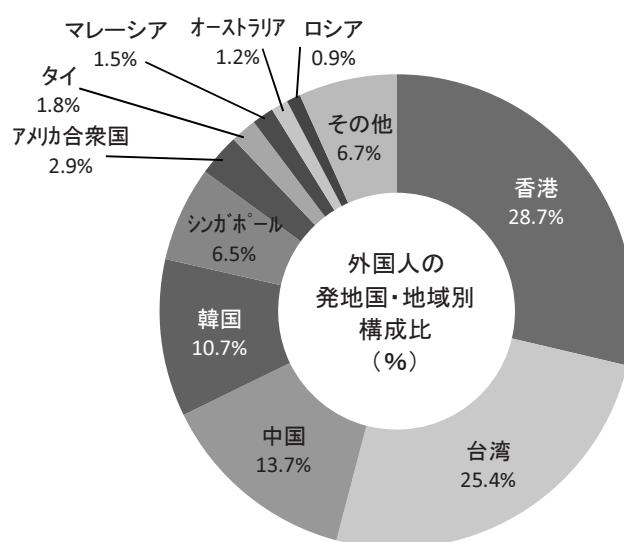
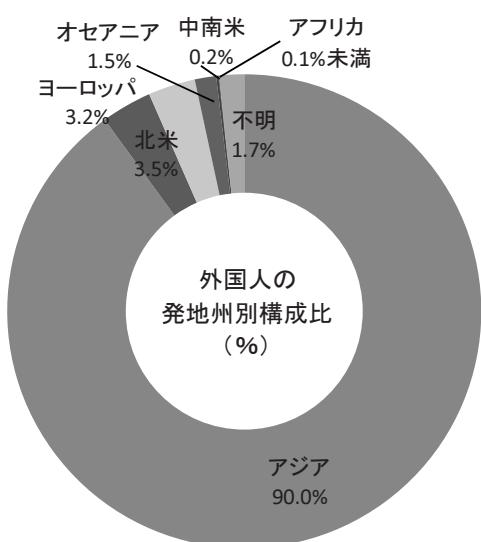


図 3-7 外国人延べ宿泊者数構成比（州別）

図 3-8 外国人延べ宿泊者数構成比（国・地域別）

参考

訪日外客数（観光客）

(単位：人)

区分	訪日外客数（観光客）		
	2009年(平成21年)	構成比	2008年(平成20年)
合計	4,759,833	100.0%	6,048,681
(州別)			
アジア	3,445,035	72.4%	4,647,940
北アメリカ	589,153	12.4%	627,726
ヨーロッパ	502,495	10.6%	521,133
オセアニア	195,177	4.1%	220,169
南アメリカ	20,540	0.4%	23,389
アフリカ	6,922	0.1%	7,409
無国籍・その他	511	0.0%	915
(国・地域別)			
韓国	1,153,935	24.2%	1,892,654
台湾	912,982	19.2%	1,264,425
中国	481,696	10.1%	455,728
アメリカ合衆国	451,267	9.5%	474,137
香港	418,169	8.8%	513,185
オーストラリア	171,579	3.6%	195,136
タイ	135,903	2.9%	143,541
カナダ	122,215	2.6%	131,504
シンガポール	121,493	2.6%	137,222
イギリス	112,958	2.4%	123,957
フランス	94,640	2.0%	90,689
マレーシア	60,356	1.3%	70,355
ドイツ	55,856	1.2%	55,090
フィリピン	38,107	0.8%	42,515
ロシア	28,942	0.6%	42,066
その他	399,735	8.4%	416,477

※訪日外客数は暦年集計。

※国別外客数は、上位15カ国を抜粋表示。

<資料>日本政府観光局（JNTO）訪日外客統計

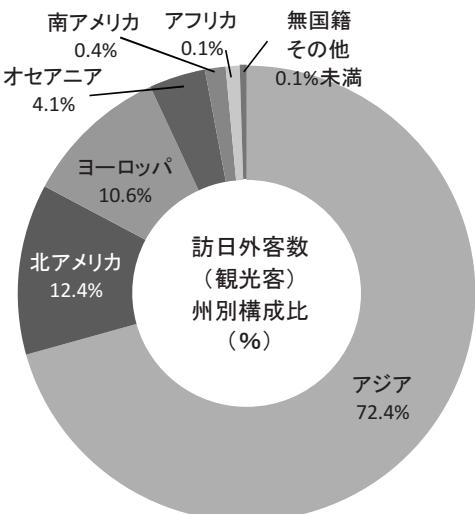


図3-9 訪日外客数構成比（州別）

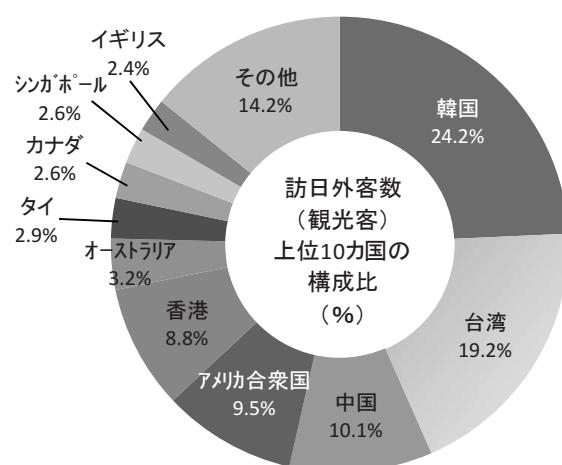


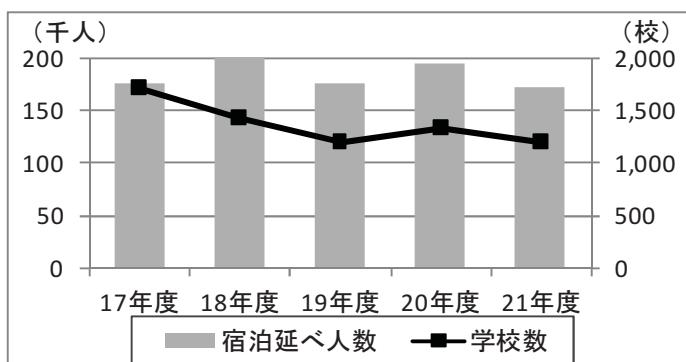
図3-10 訪日外客数構成比（国・地域別）

5 修学旅行生の宿泊状況

回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める修学旅行生の宿泊数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊数を推計することが適当ではないため、およそ8割の回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

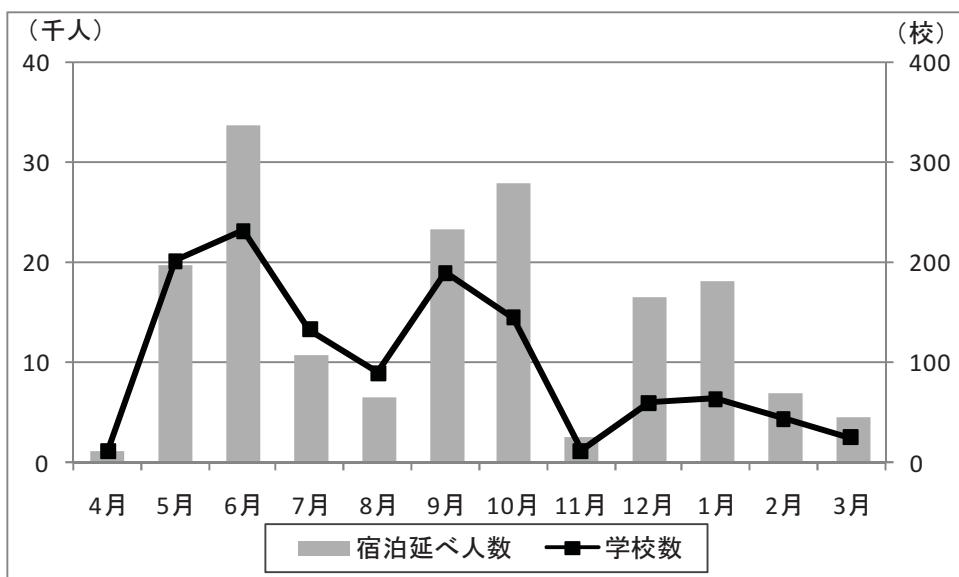
(1) 修学旅行生の宿泊数年度別推移

年 度	学 校 数 (校)	宿泊延べ人数 (人)
17 年度	1,717	175,024
18 年度	1,424	199,602
19 年度	1,201	174,990
20 年度	1,331	194,813
21 年度	1,208	171,951



(2) 修学旅行生の宿泊数月別内訳

月	学 校 数 (校)	宿泊延べ人数 (人)	延べ人数構成比	
			構成比	年度計
平成 21 年 4 月	11	1,279	0.7%	
5 月	202	19,710	11.5%	
6 月	232	33,647	19.6%	
7 月	133	10,842	6.3%	
8 月	90	6,653	3.9%	
9 月	190	23,231	13.5%	
10 月	145	27,879	16.2%	
11 月	12	2,489	1.4%	
12 月	60	16,550	9.6%	
平成 22 年 1 月	64	18,125	10.5%	
2 月	44	6,963	4.0%	
3 月	25	4,583	2.7%	
年度計	1,208	171,951	100.0%	



(3) 修学旅行生の宿泊数発地別内訳

区分	学校数(校)	宿泊延べ人数(人)	延べ人数構成比	前年度比	前年度宿泊延べ人数(人)
合計	1,208	171,951	100.0%	88.3%	194,813
道内	493	28,445	16.5%	95.4%	29,807
東北	50	7,027	4.1%	183.2%	3,836
関東	147	25,281	14.7%	83.1%	30,430
中部	106	18,835	11.0%	79.8%	23,613
近畿	137	31,194	18.1%	104.4%	29,886
中国	110	19,613	11.4%	83.8%	23,405
四国	92	22,624	13.2%	108.8%	20,790
九州・沖縄	73	18,932	11.0%	57.3%	33,046

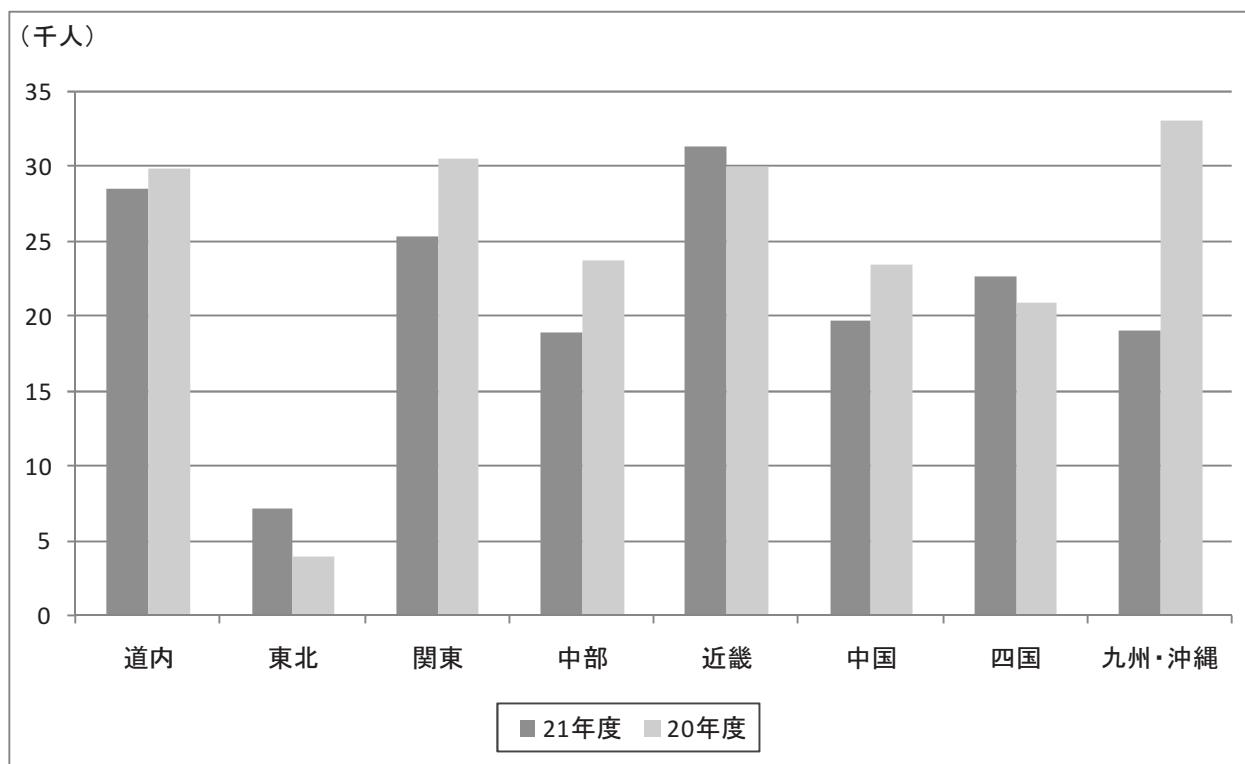
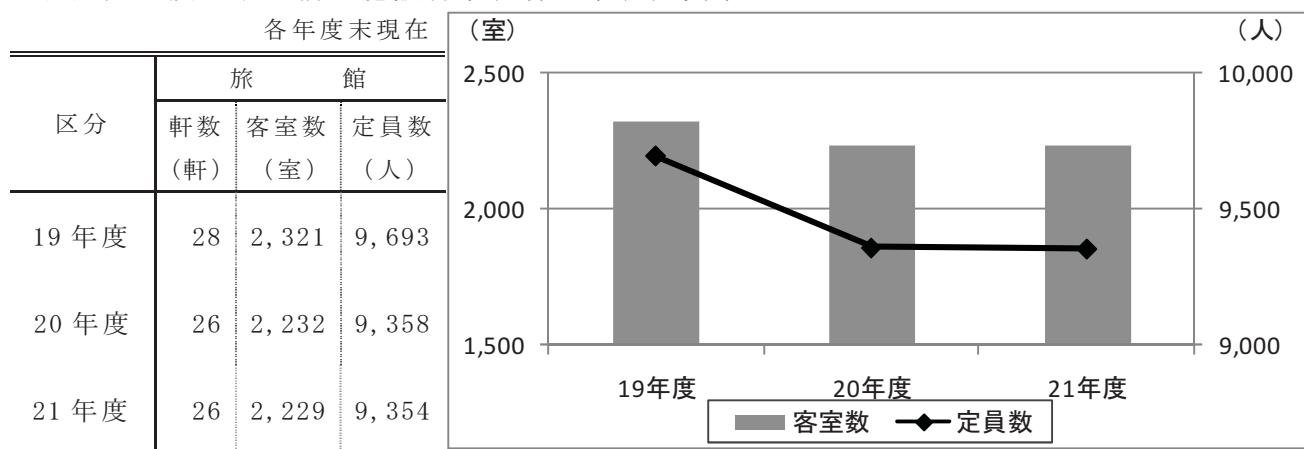


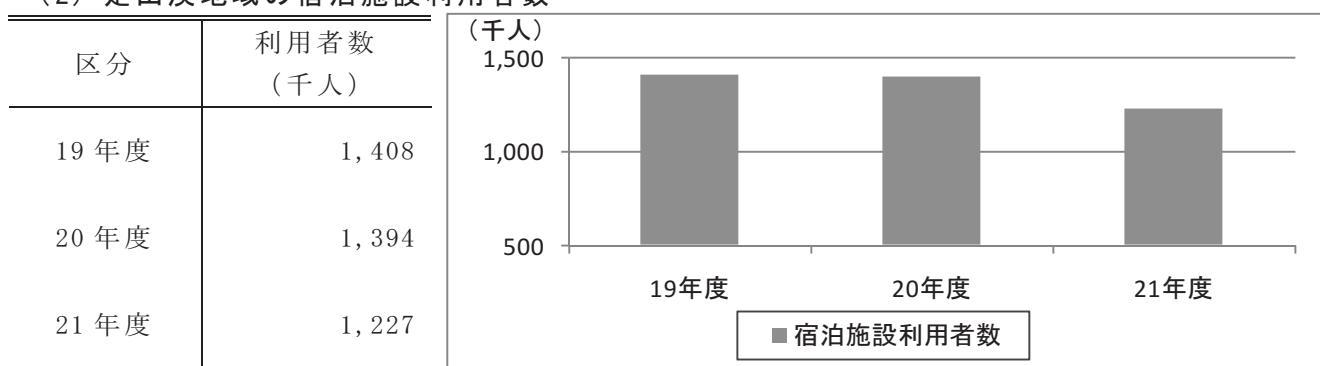
図 3-13 修学旅行生の発地別延べ宿泊者数

6 定山渓地域の宿泊状況

(1) 定山渓地域の宿泊施設軒数、客室数、定員数



(2) 定山渓地域の宿泊施設利用者数



ここに掲載する定山渓地域の「宿泊施設利用者数」は、一般観光客、外国人、修学旅行生、市民利用者等を含む全ての利用者数です。

ただし、全ての宿泊施設からは回答が得られないため、回答のあったおよそ7割の宿泊施設の宿泊施設利用者数を宿泊可能定員数で除して求めた定員利用率を、回答のなかった宿泊施設の定員数に乗じて回答のなかった宿泊施設の利用状況を推計し、それぞれを積み上げて算出しています。

$$\text{定員利用率} = \frac{\text{宿泊施設利用者数}}{\text{宿泊可能定員数}}$$

(3) 定山渓地域宿泊施設の客室稼働率

(単位 : %)

区分	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政府登録施設	55.7	33.1	44.2	57.0	61.1	72.5	72.0	64.2	51.0	46.5	52.5	57.5	56.8
一般施設	62.7	48.3	56.6	57.5	58.5	67.4	71.3	77.5	69.9	52.4	57.2	64.6	72.2
公的施設	55.7	61.9	62.2	52.9	54.5	52.9	71.0	61.2	56.8	44.6	49.4	48.2	54.2

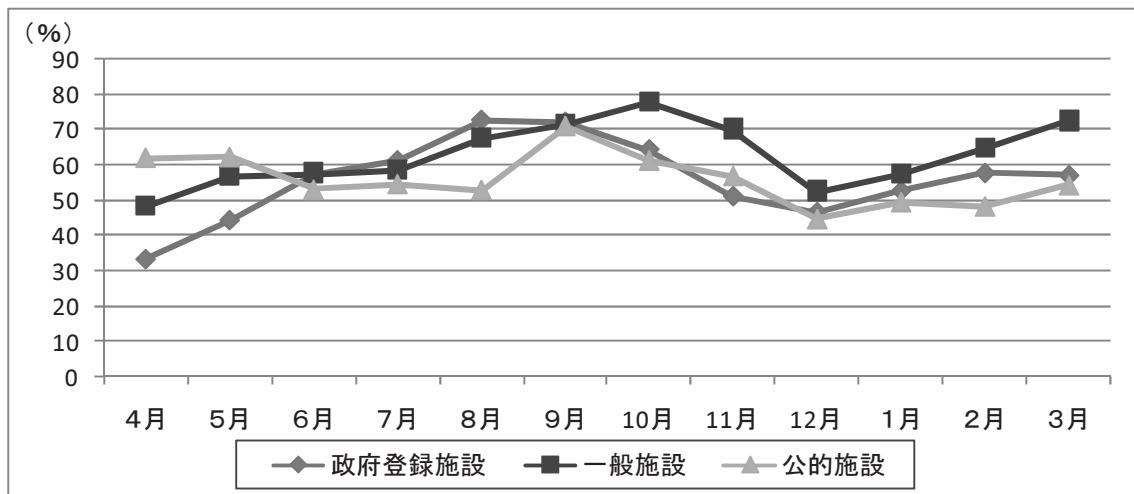


図 3-16 定山渓地域宿泊施設の客室稼働率

(4) 定山渓地域の外国人宿泊数

ここに掲載する外国人宿泊数には、観光以外の目的での利用者も含みます。なお、回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める外国人の宿泊数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊数を推計することが適当ではないため、およそ7割の回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

月	延べ宿泊者数(人)	構成比
平成 21 年 4 月	454	1.7%
	902	3.3%
	1,281	4.7%
	4,079	15.0%
	4,049	14.9%
	1,823	6.7%
	2,209	8.1%
	1,705	6.3%
	2,967	10.9%
	1,636	6.0%
	5,189	19.0%
	957	3.5%
年度計	27,251	100.0%

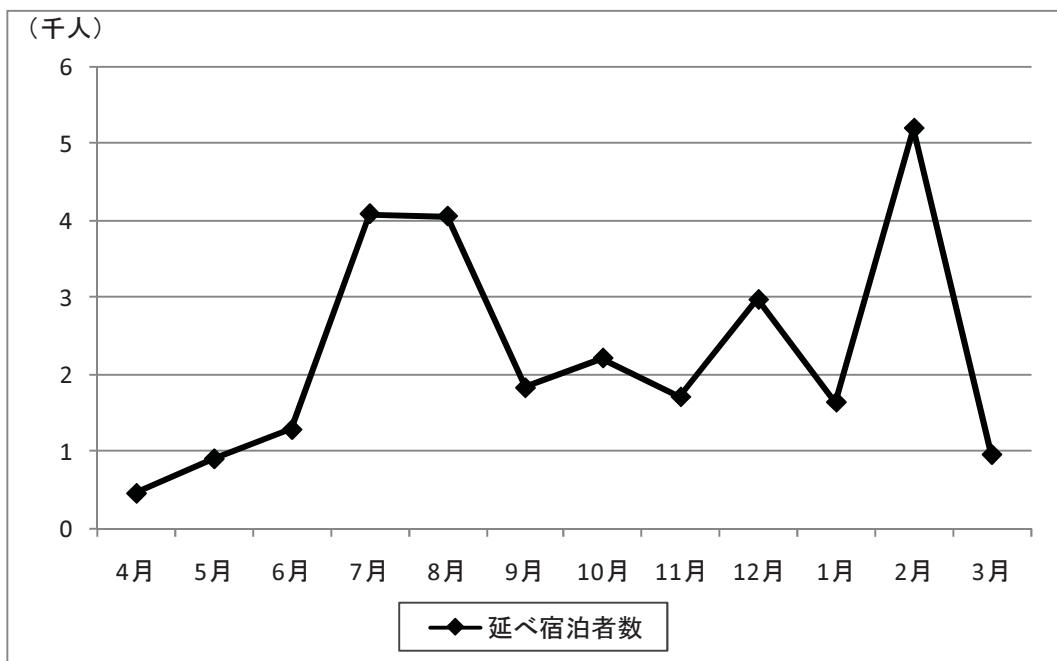


図 3-17 定山渓地域の外国人延べ宿泊者数

(5) 定山渓地域の修学旅行生の宿泊状況

回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める修学旅行生の宿泊数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊数を推計することが適当ではないため、およそ7割の回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

月	学校数 (校)	宿泊延べ人数 (人)	延べ人数構成比
平成 21 年 4 月	0	0	0.0%
	44	2,613	12.1%
	56	3,268	15.1%
	31	1,725	8.0%
	20	1,377	6.4%
	38	3,115	14.4%
	13	2,171	10.0%
	2	243	1.1%
	2	657	3.0%
	12	4,492	20.8%
平成 22 年 1 月	6	1,595	7.4%
	2	383	1.8%
	226	21,639	100.0%

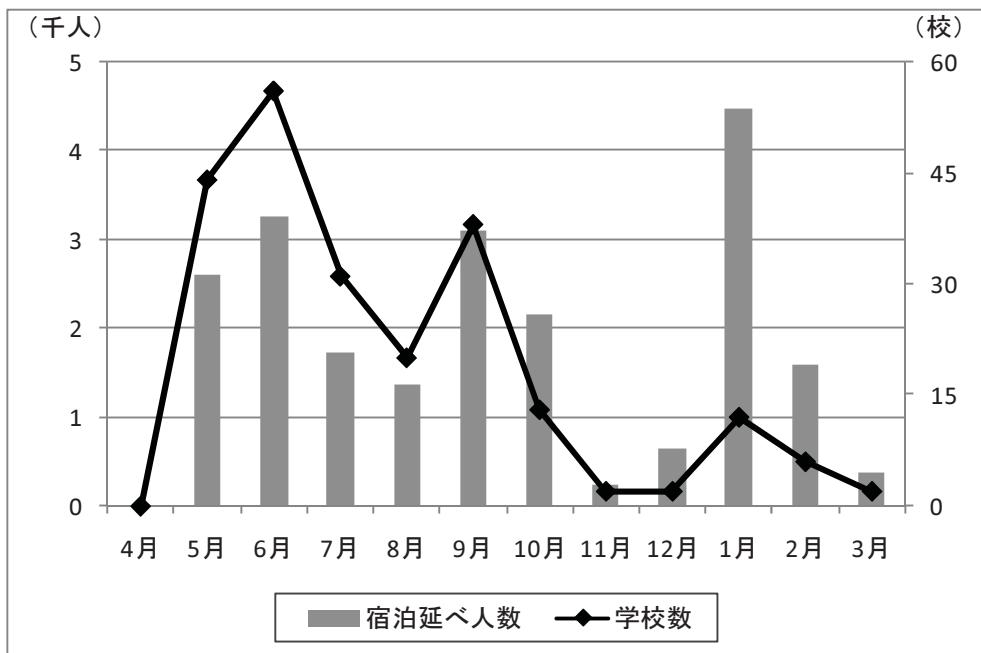


図 3-18 定山渓地域の修学旅行生の宿泊数

【定山渓地域の修学旅行生の宿泊数発地別内訳】

発地別	学校数 (校)	宿泊延べ人数 (人)	延べ人数 構成比
合 計	226	21,639	100.0%
道 内	164	9,105	42.1%
東 北	4	269	1.2%
関 東	19	2,591	12.0%
中 部	2	360	1.7%
近 畿	24	5,654	26.1%
中 国	3	957	4.4%
四 国	2	203	0.9%
九州・沖縄	8	2,500	11.6%

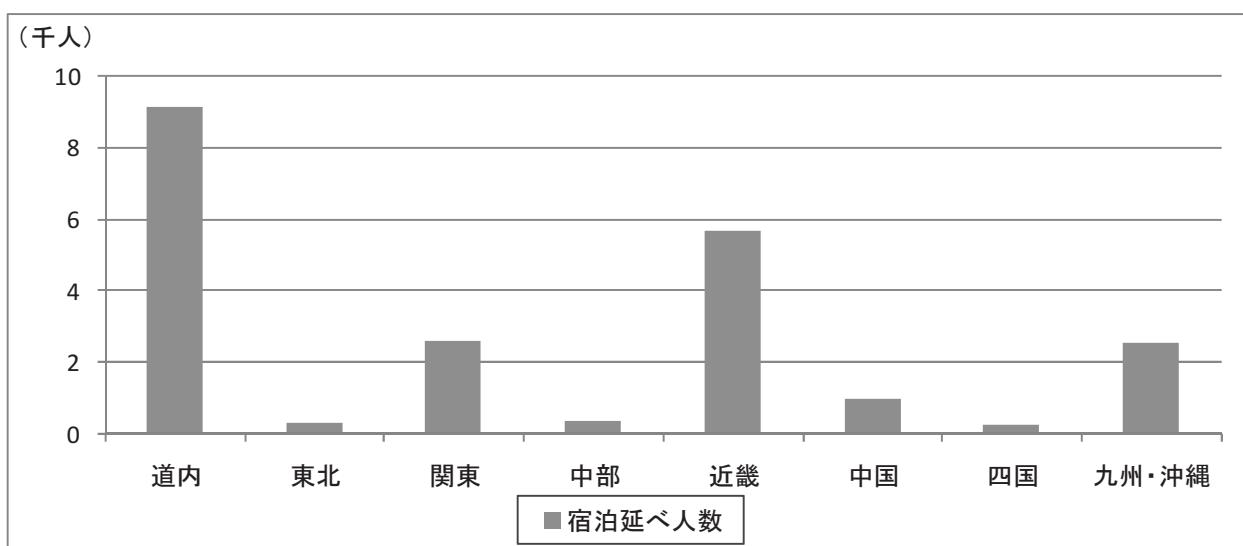


図 3-19 定山渓地域の修学旅行生発地別延べ宿泊者数

第4章 イベントとコンベンション

1 札幌でのイベント開催状況

(1) さっぽろ雪まつり

さっぽろ雪まつりは、昭和25年、市内の中高校生たちが大通公園西7丁目に作った小さな雪像6基からスタートしました。寒く厳しい冬に、わずかの楽しみを求めて集まった市民は5万人を数え、小雪像を囲んでのスクエアダンスや映画会を楽しみました。

回を重ねるごとにその規模は拡大し、第6回から雪像の制作に自衛隊が携わることで、大雪像時代が到来しました。今では国内はもとより世界的に知られる冬の一大イベントになっています。

第61回雪まつりでは、高さ26mにもなる大雪像など143基の雪氷像が「大通会場」に作られ、その迫力と精巧さで観客を魅了しました。また第2会場の「つどーむ会場」は遊びをテーマとし、チューブスライダーや、北海道ならではの体験をテーマとした竹スキーなど、来場者参加型の雪まつりとして好評を博し、2会場併せて過去最高の来場者数を記録しました。

(URL) <http://www.snowfes.com/>



【第61回さっぽろ雪まつりの開催概要】

期 間	平成22年2月5日(金)～11日(木・祝)〔7日間〕	
会 場	大 通 会 場	大通西1～12丁目
	つどーむ会場	札幌市スポーツ交流施設「つどーむ」
	すすきの会場	駅前通(南4～7条)
行 事 等	<ul style="list-style-type: none">開会式(大通西7丁目 2月5日)つどーむ会場オープニングセレモニー(つどーむ 2月5日)国際雪像コンクール 14チーム(大通西11丁目)市民雪像(大通小雪像105基、中雪像3基、つどーむ小雪像4基)スノーオブジェコンテスト(つどーむ 2月5日)ステージイベント(各会場で会期中、多種多彩なイベントを実施)	
雪 氷 像 数	248基(大雪像5基、中雪像5基、大氷像2基、その他小雪氷像)	
雪 輸 送 量	5t トラックで約6,200台(1月7日開始)	

【観客数、雪氷像数の推移(過去10年)】

	第52回 (平成13年)	第53回 (平成14年)	第54回 (平成15年)	第55回 (平成16年)	第56回 (平成17年)	第57回 (平成18年)	第58回 (平成19年)	第59回 (平成20年)	第60回 (平成21年)	第61回 (平成22年)
雪像数(基)	325	312	308	311	304	338	307	290	286	248
観客数 (千人)	2,344	2,297	2,233	2,179	2,191	1,985	2,101	2,159	2,080	2,433

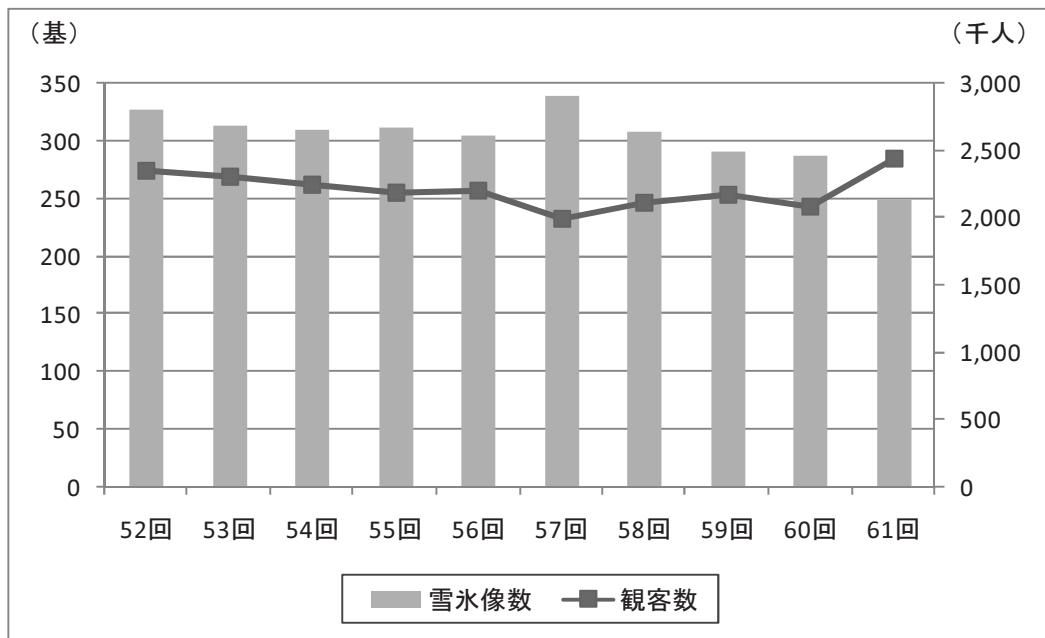


図 4-1 さっぽろ雪まつりの観客数、雪氷像数の推移

(2) YOSAKOI ソーラン祭り

高知の「よさこい祭り」で、南国土佐の若者たちが情熱的に踊り舞うさまを目にした札幌の大学生が、翌年の平成4年、その感動を再現する新イベントを札幌に創り出しました。よさこい踊りとソーラン節という、日本の南と北の風物詩を組み合わせた「YOSAKOI ソーラン祭り」の誕生です。

鳴子（なるこ）を手にし、あでやかな衣装に身を包んだ踊り子チームのそれぞれが、ソーラン節のオリジナルやアレンジ曲に合わせて独自のよさこい踊りを披露し、市内各会場で腕を競い合います。

平成10年開催の第7回から、祭りの急速な規模拡大に対応するため、学生中心の実行委員会に代わって、経済界や本市などが加わり組織委員会が結成され、運営・管理体制の強化が図られました。

今年の祭りは、市民に愛され、永く続いていく祭りとなるよう、「誰もが参加できる」「自由な創造性が基本」「人や地域に元気と感動を届ける」という3つの原則を定めました。その原則に基づき、大通パレード5・7丁目会場桟敷席を無料開放し、より多くの人に、迫力の演舞を間近でゆったりと観覧できるようにしました。また、「チームの多様性を尊重する審査」、そして「市民目線の審査」を目指し、審査方法や審査員の構成などの改革を行い、より市民のみなさんに親しんでいただける祭りを目指しました。また、騒音対策・環境対策として、地方車（パレードの先導車）を原則として組織委員会が一括して用意・管理することで、祭り全体として使用する台数を削減し、騒音や排気ガス排出などの軽減に取り組みました。

それらの取り組みの結果、今年は、過去最高の観客数となりました。



提供：YOSAKOI ソーラン祭り組織委員会

(URL) <http://www.yosakoi-soran.jp/>

【第 18・19 回 YOSAKOI ソーラン祭りの開催概要】

	第 18 回（平成 21 年度）	第 19 回（平成 22 年度）
期 間	平成 21 年 6 月 10 日（水）～14 日（日）	平成 22 年 6 月 9 日（水）～13 日（日）
会 場	大通公園を始めとする市内 25 会場	大通公園を始めとする市内 27 会場
参 加 者	延べ 33,000 人 316 チーム	延べ 30,000 人 304 チーム
うち市内	80 チーム	78 チーム
道内	90 チーム	79 チーム
その他の	146 チーム	147 チーム
観 客 数	178 万 7,700 人	218 万 1,900 人
経 済 効 果	220 億 3,850 万円	233 億 0,950 万円

【観客数、参加チーム数、参加者数の推移（過去 10 年）】

	第 10 回 (13 年度)	第 11 回 (14 年度)	第 12 回 (15 年度)	第 13 回 (16 年度)	第 14 回 (17 年度)	第 15 回 (18 年度)	第 16 回 (19 年度)	第 17 回 (20 年度)	第 18 回 (21 年度)	第 19 回 (22 年度)
参加チーム数	408	344	330	333	334	350	341	330	316	304
参加者(百人)	410	440	440	430	430	450	430	430	330	300
観客数(万人)	201	151	202	208	214	186	216	202	179	218

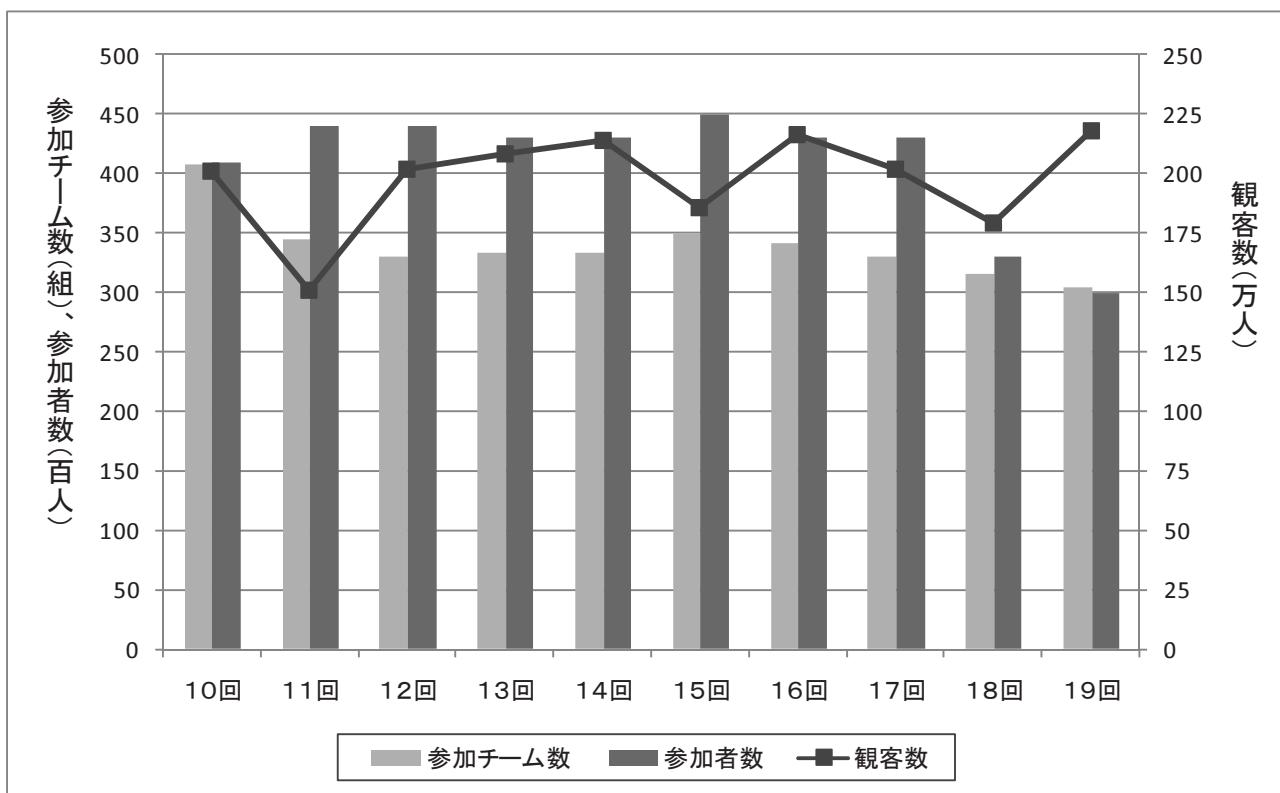


図 4-2 YOSAKOI ソーラン祭りの観客数、参加チーム数、参加者数の推移

(3) さっぽろ夏まつり

昭和 29 年、夏の観光名物の新規開拓を目指して、それまで市内の各団体・地域がそれぞれ独自に実施してきた夏の行事が一つにまとめられました。「さっぽろ夏まつり」の誕生です。

現在、このまつりは毎年 7・8 月に 1 カ月間連続して開催され、大通会場をはじめ、狸まつり、すすきの祭り、定山渓かっぱウィークの 3 つのまつりと、各団体・各地域の催しものから構成されています。そしてこのイベントの中心となっているのがビアガーデンと盆踊りです

まつりの前半には、メイン会場の「福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデン」に色とりどりのパラソルの花が咲き、ジョッキ数十万杯分の生ビールが市民や観光客ののどを潤します。後半に催される「北海盆踊り」では、提灯の列に彩られた夜の大通にやぐら太鼓が鳴り響き、大勢の市民と観光客で踊りの輪が広がっていきます。



(URL) <http://www.sapporo-natsu.com/>

【第 57 回さっぽろ夏まつりの開催概要】

期 間：平成 22 年 7 月 21 日（水）～8 月 20 日（金）〔31 日間〕

行事等

	行 事 ・ 会 場	日 程
大 通	福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデン (西 4~8、10~12 丁目)	7 月 21 日～8 月 15 日
	北海盆踊り（西 2 丁目）	8 月 14 日～20 日
	※「仮装コンクール」（西 2・3 丁目）	8 月 20 日
	さっぽろバザール（西 5・6 丁目）	8 月 18 日～20 日
狸 小 路	第 57 回狸まつり	7 月 21 日～8 月 20 日
す す き の	第 46 回すすきの祭り	8 月 5 日～7 日
定 山 渓	定山渓温泉かっぱウィーク	8 月 4 日～8 日

【ビール消費量および盆踊り参加者数の推移（過去 10 年）】

	第 48 回 (平成 13 年)	第 49 回 (平成 14 年)	第 50 回 (平成 15 年)	第 51 回 (平成 16 年)	第 52 回 (平成 17 年)	第 53 回 (平成 18 年)	第 54 回 (平成 19 年)	第 55 回 (平成 20 年)	第 56 回 (平成 21 年)	第 57 回 (平成 22 年)
ビール消費量(kℓ)	266	256	256	442	428	575	459	539	520	416
盆踊り参加者(千人)	172	127	173	149	84	87	101	108	91	115
平均最高気温(℃)	24.5	25.1	23.3	28.2	27.0	27.9	30.4	26.4	25.8	27.8

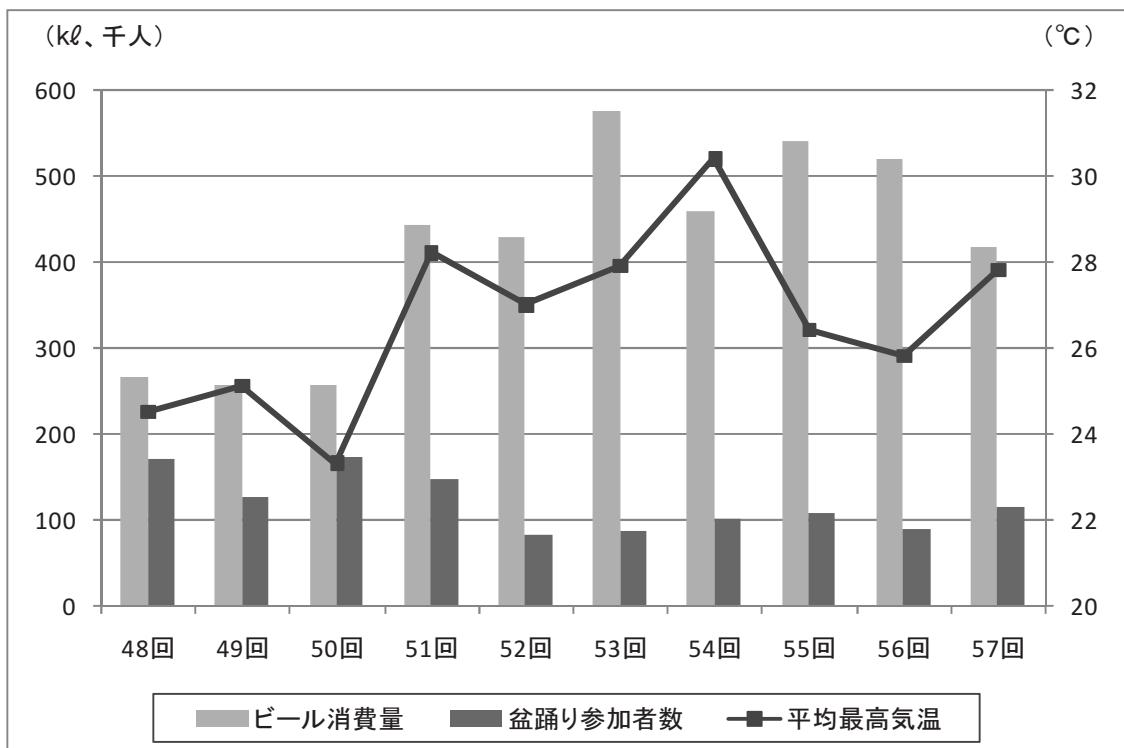


図 4-3 さっぽろ夏まつりのビール消費量及び盆踊り参加者数、平均最高気温の推移

(4) さっぽろライラックまつり

明治期に米国からもたらされて以来、ライラック（別名リラ）は多くの市民に愛され、街角や庭先を飾ってきました。昭和 34 年に「ロマンのまちらしい札幌のまつりを」という文化団体や芸術・文化人らの呼びかけで、ライラックまつりは始まりました。翌、昭和 35 年には、札幌市の人団 50 万人突破を記念して行われた市民投票で、市の花・木・鳥を決めた際に「札幌の木」として選ばれています。



毎年 5 月下旬の開花時期にあわせて開催される「さっぽろライラックまつり」は、半年あまりの長い冬からの開放と野外散策の季節の到来を市民に告げるイベントであり、平成 22 年で 52 回目を迎えました。小・中・高校生による吹奏楽・合唱などが行われる「ライラック音楽祭」や茶道 8 流派による「野だて」などの文化行事が多数行われたほか、道内 13 のワイナリーの個性豊かなワインと道産食材の料理を楽しむワインガーデンも人気を博しました。

今年のライラックまつりでは、第 2 会場として、3 回目の開催となった白石区の川下公園でも、ライラックの森を公園職員が案内するライラックツアーやライラックをテーマとしたフォトコンテストなどの各種イベントを開催しました。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/lilac/>

【第 51・52 回さっぽろライラックまつりの開催概要】

	第 51 回（平成 21 年度）		第 52 回（平成 22 年度）	
期 間	平成 21 年 5 月 20 日（水） ～24 日（日）	5 月 31 日（日）	平成 22 年 5 月 19 日（水） ～23 日（日）	5 月 30 日（日） 6 月 6 日（日）
会 場	大通公園西 4～7 丁目	川下公園	大通公園西 4～7 丁目	川下公園
行 事 等	苗木プレゼント、ライラック写生コーナー、野だて、ライラック音楽祭、似顔絵コーナー、スタンプラリー、折紙教室、和紙ちぎり絵展示・教室、万華鏡の体験・展示コーナー、喫茶コーナー、ワインガーデン、ライラック展示・相談コーナー 他			
観客数	377,600 人		411,800 人	

(5) さっぽろ菊まつり

昭和 30 年代の園芸ブームに乗って菊作りの愛好者が増え、市民の関心が高まる中、それまでばらばらであった小規模な同好会の活動が一本化され、全市的なイベント「さっぽろ菊花展」が誕生しました。昭和 38 年の第 1 回開催から 4 年を経た第 5 回からは、名称が「さっぽろ菊まつり」に変わり、展示会から市民も催しの参加者となって共に楽しむまつりとなりました。



札幌市の秋の恒例行事として内外に定着したこのまつりは、現在、札幌地下街のオーラタウンとポールタウン、地下鉄大通駅コンコースを会場として開催しています。「大輪 3 本仕立」、「懸崖仕立」など丹精込めた作品が 4 日間にわたって地下街の通り中央にずらりと並び、その数は毎年、約 8 百点に達します。

また、平成 14 年から、菊づくり愛好者の裾野を広げ、より多くの方が菊まつりに出演できるように、菊づくり講習会を実施しています。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/kiku/>

【2009 さっぽろ菊まつりの開催概要】

期 間	平成 21 年 10 月 31 日（土）～11 月 3 日（火・祝）〔4 日間〕
会 場	さっぽろ地下街オーラタウン・ポールタウン、地下鉄大通駅コンコース
行 事 等	菊花プレゼント、菊花展、初心者相談コーナー、菊づくり講習会
観客数	140 万人
出 展 数	814 点

(6) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和 56 年に、秋の観光シーズンと「さっぽろ雪まつり」をつなぐイベントとして始められ、当初は大通公園の西 2 丁目のみを会場に 1,048 個の電球からスタートしました。現在は、大通公園と駅前通りを会場とするに至り、45 万個もの電球が飾られたシンボルオブジェや立木が東西・南北両方向に街を貫きます。

27 回からは、南一条通り・さっぽろプロムナードが新会場として加わりました。



(URL) <http://www.white-illumination.jp/>

【第 29 回さっぽろホワイトイルミネーションの開催概要】

会期	大通公園会場 [大通西 1~8 丁目]	平成 21 年 11 月 27 日(金)~ 平成 22 年 1 月 3 日(日) 38 日間
	駅前通り会場 [北 4 条~南 4 条]	平成 21 年 11 月 27 日(金)~ 平成 22 年 2 月 11 日(木・祝) 77 日間
	南一条通り会場 [南 1 西 1~西 3]	平成 21 年 11 月 27 日(金)~ 平成 22 年 2 月 11 日(木・祝) 77 日間
点灯時間	16:30~22:30 (予定) (12 月 23、24、25 は 24:00 まで)	
総電球数	45 万個	
行事等	ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 大通西 2 丁目 11 月 27 日(金)~12 月 24 日(木)	

(7) さっぽろオータムフェスト

さっぽろオータムフェストは、「北海道・札幌の食」をメインテーマとし、札幌市内の魅力発信はもとより、道内市町村や民間事業者との連携を図り、道内各地域のアンテナショップとしての役割を果たし、北海道全体の活性化に貢献することを目的に平成 20 年度からスタートしました。

道内各市町村で採れた農産物や海産物、地元の食材を生かした個性あるご当地のグルメ、道産の酒やおつまみなどの特選品が並び、多くの来場者の方々に秋の味覚をお楽しみいただきました。



(URL) <http://www.sapporo-autumnfest.jp/>

【さっぽろオータムフェスト 2010 の開催概要】

期 間	平成 22 年 9 月 17 日（金）～10 月 3 日（日）〔17 日間〕
会 場	大通公園 4 丁目～8 丁目
行 事 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープニングセレモニー（6 丁目野外ステージ 9 月 17 日） ・ 野外ステージイベント（6 丁目） ・ チャレンジオータム（4 丁目 9 月 18 日～20 日、25 日～26 日、10 月 2 日～3 日） ・ 北海道の新・ご当地グルメ&ラーメン祭り（5 丁目） ・ ワイナリー&蔵元フェア（7 丁目） ・ 本格手打ちそば実演販売（7 丁目 9 月 21 日～26 日） ・ さっぽろ・飲み屋グルメ・グランプリ（8 丁目 9 月 27 日～29 日） ・ 札幌大通ふるさと市場（8 丁目） 他

【来場者数の推移】

	第1回 (平成20年)	第2回 (平成21年)
来場者数 (千人)	724	1,304

2 札幌でのコンベンション開催状況

(1) 札幌での主なコンベンション開催状況

(単位：件、%)

年 度	合 計		国際大会	全国大会	全道大会
	件 数	前年比(%)	件 数	件 数	件 数
17年度	872	103.6	33	89	750
18年度	911	104.5	64	222	625
19年度	952	104.5	67	112	773
20年度	1,059	111.2	109	183	767
21年度	987	93.2	87	104	796

(注) 関係機関、市内各大学各種団体に照会し、回答のあったものについて集計。

(2) 札幌コンベンションセンター稼働率（平成21年度）

	利用日(日)	稼働(%)	総来場者数	302,236人
大ホール	271	80.2		
特別会議場	174	51.5		
中ホール	248	73.4		
小ホール	238	70.4		
会議室(15室)	256	75.7		

(注) 稼働率は、営業日数338日で計算。

参考

国際コンベンション開催状況の他都市との比較

(単位：件)

2006年（平成18年）			2007年（平成19年）			2008年（平成20年）		
順位	都 市	件 数	順位	都 市	件 数	順位	都 市	件 数
1	東京(23区)	460	1	東京(23区)	440	1	東京(23区)	480
2	京都	154	2	京都	183	2	横浜	184
3	福岡	126	3	横浜	157	3	福岡	172
4	大阪	111	4	福岡	151	4	京都	171
5	名古屋	109	5	名古屋	109	5	名古屋	130
6	横浜	103	6	神戸	89	6	神戸	94
7	神戸	76	7	つくば地区	82	7	つくば地区	80
8	つくば地区	64	8	大阪	76	8	大阪	77
9	千里地区	49	9	仙台	51	8	札幌	77
10	札幌	48	10	札幌	44	10	千葉	67

(注) 「千里地区」とは豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を指す。

「つくば地区」とはつくば市、土浦市を指す。

<資料>日本政府観光局（JNTO）国際会議統計

※2007年からの新基準での各都市の開催件数を記載

第5章 参考資料

1 観光施設の利用状況

(1) 主な観光施設入場者数

(単位：人)

施設名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	前年度比
円山動物園	503,846	611,521	609,614	700,558	923,503	131.8%
モエレ沼公園	708,410	831,350	778,210	813,820	829,787	102.0%
滝野すずらん丘陵公園	586,416	587,072	624,850	588,237	571,242	97.1%
サッポロさとらんど	478,040	732,735	870,170	531,096	568,503	107.0%
藻岩山	462,332	502,430	520,857	493,247	479,195	97.2%
大倉山ジャンプ競技場	491,150	462,646	474,295	440,808	427,674	97.0%
北海道庁旧本庁舎	439,879	441,084	445,028	411,849	363,074	88.2%
テレビ塔展望台	369,991	415,121	443,879	408,334	359,975	88.2%
羊ヶ丘展望台	419,666	414,730	396,963	385,960	359,936	93.3%
白い恋人パーク	283,258	340,923	191,155	338,345	359,513	106.3%
札幌芸術の森	420,910	278,038	388,888	446,503	356,219	79.8%
札幌市青少年科学館	359,959	292,854	351,645	342,258	328,168	95.9%
J R タワー展望室 T 3 8	320,274	311,815	286,740	269,199	249,358	92.6%
北海道立近代美術館	181,449	245,684	366,280	230,487	236,321	102.5%
時計台	191,935	208,971	206,661	198,636	171,751	86.5%
サッポロビール博物館	113,100	143,900	146,909	142,762	148,473	104.0%
札幌市資料館	118,541	69,835	148,717	138,655	142,863	103.0%
北海道開拓の村	178,225	168,634	166,344	144,219	140,596	97.5%
サンピアザ水族館	115,659	113,647	120,108	123,856	137,963	111.4%
観覧車N O R I A ※1		379,916	202,590	151,710	120,600	79.5%
札幌ウインターボーツミュージアム	115,671	121,946	108,922	99,114	86,701	87.5%
豊平川さけ科学館	76,969	79,506	84,603	89,442	84,916	94.9%
豊平峡	91,978	78,146	81,151	83,264	74,856	89.9%
北海道大学総合博物館	75,685	73,993	89,042	62,701	69,646	111.1%
北海道開拓記念館	80,598	90,744	95,246	84,643	67,889	80.2%
札幌ドーム（ドームツアーや展望台等利用者）	115,738	69,109	66,246	58,941	61,867	105.0%
オートリゾート滝野	47,104	48,596	50,350	52,560	50,282	95.7%
札幌市アイヌ文化交流センター	39,970	39,621	40,174	51,044	47,035	92.1%
北大附属植物園	53,567	60,698	58,859	57,093	45,094	79.0%
北海道立文学館	21,963	16,812	30,023	28,551	42,325	148.2%
札幌市下水道科学館	34,998	35,248	35,788	34,342	37,930	110.4%
宮の森ジャンプ競技場	10,415	29,132	27,979	36,212	37,755	104.3%
雪印乳業史料館	19,220	29,389	25,836	21,819	20,268	92.9%
定山渓自然の村	25,802	25,223	14,637	16,626	17,520	105.4%
エリエルスクエア札幌 渡辺淳一文学館	14,696	12,723	13,900	11,709	13,799	117.8%
八窓庵 ※2				3,711	12,101	326.1%
豊平館	16,780	16,378	15,047	16,540	11,922	72.1%
清華亭	8,912	9,100	7,114	10,244	8,930	87.2%
本郷新記念札幌彫刻美術館	7,810	7,367	6,725	6,503	6,894	106.0%
エド・ウインダン記念館	8,072	6,014	5,432	6,404	5,634	88.0%
旧永山武四郎邸	4,032	7,255	8,320	6,431	5,375	83.6%
琴似屯田兵村兵屋跡	4,675	4,130	4,719	4,115	3,949	96.0%
札幌村郷土記念館	6,375	3,747	4,180	4,641	3,578	77.1%
旧黒岩家住宅	2,902	3,079	2,510	2,741	2,600	94.9%
札幌市文化資料室 ※3		1,290	1,027	2,753	2,096	76.1%
新琴似屯田兵中隊本部	1,493	1,170	1,882	1,717	2,041	118.9%
北海道鉄道技術館	900	1,091	1,498	1,485	1,695	114.1%

※1 平成18年5月3日オープン

※2 平成17～19年度まで復旧工事のため一般公開なし。平成20年度は9日間の公開のみ。

※3 平成18年度から掲載

(2) 主な集客施設観客数

(単位：人)

施設名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	前年度比%
札幌コンサートホール Kitara	395,257	412,411	440,584	441,761	420,361	95.2%
札幌ドーム	2,000,417	2,582,677	2,871,479	2,904,458	2,974,296	102.4%

(3) スキー場リフト利用状況（リフト利用延べ人数）

(単位：千人)

年 度	合 計	サッポロ ティネ	ばんけい	藻岩山	真駒内※	フッズ スノー エリア	札幌 国際
17年度	8,696	2,830	1,449	1,272	575	734	1,836
18年度	8,852	2,928	1,383	1,210	499	747	2,085
19年度	8,410	2,898	1,450	1,309		831	1,922
20年度	7,991	2,480	1,459	1,166		808	2,078
21年度	8,034	2,452	1,739	1,291		872	1,680
前年度比 (%)	100.5%	98.9%	119.2%	110.7%		107.9%	80.8%
21年度 営業期間		11/21 ～4/4	12/17 ～4/11	12/23 ～3/31		12/22 ～3/31	11/21 ～5/5

※真駒内スキー場は、平成19年3月に廃業。

2 定期観光バス利用者数（北海道中央バス）

(単位：人)

コース名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	前年度比 (%)	備考
さっぽろ散策バス (路線バス)	31,241	36,914	37,791	16,189	4,020	24.8%	運行期間短縮 (春～秋⇒夏季のみ)
さっぽろうお～く (路線バス)	—	—	348,838	307,500	339,000	110.2%	19年度より調査開始
<春～秋季>							
春の札幌コース	255	177	148	155	317	204.5%	
札幌一日コース	3,338	3,435	2,572	2,469	2,040	82.6%	
すずらんコース	10,152	10,580	7,994	7,491	5,782	77.2%	
夜の札幌コース	4,113	4,384	3,833	3,605	3,241	89.9%	
すすきのニューハーフ ショー			676	320	232	72.5%	19年6月より運行
ライラックコース	2,378	2,026	1,585	1,184	1,085	91.6%	
【2階建てバス】白い恋人 パークと場外市場コース		2,998	2,978	4,123	4,992	121.1%	18年4月より運行 ※多言語案内ツアーアー
【2階建てバス】大倉山& 羊ヶ丘展望台コース					4,167	-	21年4月より運行 ※多言語案内ツアーアー
<冬季>							
初冬の札幌コース	424	589	523	651	572	87.9%	
冬の札幌コース	1,979	1,623	1,610	317	1,036	326.8%	
札幌夜景シャトルバス					570	-	21年12月より運行
冬のすすきのニューハーフ ショー			244	74	68	91.9%	19年11月より運行
札幌おまかせ満腹コース					550	-	21年12月より運行
【2階建てバス】白い恋人 パークと場外市場コース	1,630	1,767	2,115	1,916	1,916	90.6%	18年12月より運行 ※多言語案内ツアーアー
【2階建てバス】午後の札 幌遊覧コース					1,277	-	21年12月より運行 ※多言語案内ツアーアー
【2階建てバス】ホワイトイルミ ネーションと大通公園ドライブ	597	342	461	167	167	36.2%	18年12月より運行 ※多言語案内ツアーアー
【2階建てバス】雪まつり期 間限定 大通公園ドライブ					434	-	22年2月より運行 ※多言語案内ツアーアー

3 北海道さっぽろ「食と観光」情報館・北海道さっぽろ観光案内所利用者数
(単位:人)

		19年度	20年度	21年度	前年度比 (%)
「食と観光」 情報館 入館者数	合 計	1,523,836	1,555,272	1,490,579	95.8%
	一日平均	4,162	4,261	4,084	95.8%
北海道さっぽろ 観光案内所 利用者数	合 計	158,645	155,945	154,553	99.1%
	一日平均	433	427	423	99.1%
外国人利用者数	合 計	28,443	28,698	30,843	107.5%
外国人 利用者数 (国別内訳) ※職員対応	台 湾	2,045	1,669	1,588	95.1%
	韓 国	3,796	3,345	4,411	131.9%
	香 港	4,861	5,185	5,166	99.6%
	中 国	638	492	818	166.3%
	シンガポール	885	1,349	1,604	118.9%
	その他のアジア	2,007	2,060	2,899	140.7%
	欧 米	7,905	7,396	8,076	109.2%
	オーストラリア (オセアニア)	526	548	350	63.9%
	その他の	1,459	2,328	1,771	76.1%

4 札幌発着航空路線

(1) 国内線

平成22年9月7日現在

発着空港	地 方	路 線		航空会社
		都道府県	空 港	
北海道	北 海 道	(渡島支庁)	函 館	A N A
		(上川支庁)	旭 川	S K Y
		(宗谷支庁)	稚 内	A N A
			利 尻	A N A
		(網走支庁)	女 満 別	J A L A N A
		(釧路支庁)	たんちょう釧路	A N A H A C
新千歳	東 北	(根室支庁)	根室中標津	A N A
		青 森 県	青 森	J A L
		岩 手 県	いわて花巻	J A L
		宮 城 県	仙 台	J A L A N A A D O I B X
		秋 田 県	秋 田	J A L
		山 形 県	山 形	J A L
新千歳	関 東	福 島 県	福 島	A D O
		千 葉 県	成 田	J A L A N A
		東 京 都	羽 田	J A L A N A A D O S K Y
		新潟 県	新潟	A N A A D O
		富 山 県	富 山	A D O
		石 川 県	小 松	A D O
新千歳	中 部	長 野 県	信州まつもと	J A L F D A
		静 岡 県	富士山静岡	J A L A N A F D A
		愛 知 県	中 部	J A L A N A
		近畿	伊 丹	J A L A N A
		大 阪 府	関 西	J A L A N A
		兵 庫 県	神 戸	A N A S K Y
新千歳	中 国	岡 山 県	岡 山	A N A
		広 島 県	広 島	J A L
新千歳	九 州	福 岡 県	福 岡	J A L A N A

発着空港	地 方	路 線		航空会社
		都道府県	空 港	
丘 珠	北 海 道	(渡島支庁) (釧路支庁)	函 館 たんちょう釧路	H A C H A C

注) 航空会社欄の JAL は日本航空、ANA は全日本空輸、ADO は北海道国際航空、SKY はスカイマーク、HAC は北海道エアシステム、FDA はフジドリームエアラインズ、IBX はアイベックスエアラインズを示す。

※休航中の路線を除く。

(2) 国際線

平成 22 年 9 月 7 日現在

発着空港	路 線	航 空 会 社	便 数
新 千 歳	北 京	中国国際航空 (全日本空輸コードシェア)	週 4 便
	瀋 陽	中国南方航空	週 2 便
	大 連	中国南方航空	週 2 便
	グ ア ム	コンチネンタル航空	週 2 便
	香 港	キャセイパシフィック航空	週 4 便
		香港エクスプレス航空	週 4 便
	釜 山	大韓航空	週 3 便
	ソ ウ ル	大韓航空 (日本航空コードシェア)	週 10 便
	上 海	中国東方航空 (日本航空コードシェア)	週 4 便
	台 北	エバー航空 (全日本空輸コードシェア)	週 7 便
		チャイナエアライン	週 7 便
	ユジノサハリンスク	サハリン航空	週 2 便

※休航中の路線を除く。

5 気象概況

(札幌管区気象台発表の数値を基礎に集計)

年 度	気温 (°C)			日照 時間 (時間)	降水量 (mm)	降雪 量 (cm)	寒暖日数 ¹⁾			
	平均	最高	最低				真夏日	夏日	冬日	真冬日
平 年 ²⁾	8.5	—	—	1,774.8	1,127.6	630	7.6	45.6	129.8	48.4
平成 17 年度	9.0	31.6	-12.3	1,668.2	1,176.0	558	9	59	125	53
18 年度	9.4	32.8	-9.4	1,732.6	1,122.5	565	14	58	118	28
19 年度	9.2	34.2	-13.2	1,816.4	968.0	427	10	54	122	45
20 年度	9.7	31.4	-9.9	1,749.3	914.0	489	4	58	121	28
21 年度	9.1	31.2	-12.6	1,626.9	1073.0	484	4	37	124	37
平成 21 年 4 月	7.7	23.4	-1.1	224.4	58.0	2	—	—	2	—
5 月	13.9	28.4	3.8	255.7	42.5	—	—	1	—	—
6 月	17.5	31.2	11.0	133.1	50.0	—	1	8	—	—
7 月	19.7	29.1	14.4	82.6	187.5	—	—	8	—	—
8 月	21.5	30.9	14.7	156.3	63.0	—	3	16	—	—
9 月	17.8	26.0	10.0	183.0	35.5	—	—	4	—	—
10 月	12.5	23.5	2.4	127.0	125.0	—	—	—	—	—
11 月	5.1	18.5	-1.9	75.7	154.0	8	—	—	9	—
12 月	-0.7	9.1	-8.9	99.2	106.5	98	—	—	26	7
平成 22 年 1 月	-2.0	5.3	-9.1	82.8	112.0	154	—	—	30	11
2 月	-3.2	9.8	-12.6	92.6	59.5	99	—	—	27	15
3 月	-0.1	9.6	-9.4	114.5	79.5	123	—	—	30	4

1) 真夏日とは最高気温が 30.0°C 以上の日、夏日とは最高気温が 25.0°C 以上の日、冬日とは最低気温が 0.0°C 未満の日、真冬日とは最高気温が 0.0°C 未満の日をいう。

2) 1971 年から 2000 年までの平均値。

6 札幌観光のあゆみ

年 度	沿 革
大正 11(1922)年	市制施行。
昭和 2(1927)年	公会堂として豊平館新館完成。
6(1931)年	大倉山シャンツエ竣工。
11(1936)年	札幌観光協会設立。
12(1937)年	札幌－東京間定期航空開始。
21(1946)年	定山渓観光協会設立。
25(1950)年	第1回さっぽろ雪まつり開催。
26(1951)年	円山動物園開園。
28(1953)年	札幌－千歳間（国道36号線）弾丸道路舗装完成。
29(1954)年	第1回狸まつり、さっぽろ夏まつり開催。
32(1957)年	豊平館、中島公園内に移築。テレビ塔完成。
33(1958)年	藻岩山観光自動車道、もいわ山ロープウェイ営業開始。
34(1959)年	第1回さっぽろライラックまつり開催。ポートランド市と姉妹都市提携調印。羊ヶ丘展望台開設。
35(1960)年	市民の投票により札幌の花（スズラン）、木（ライラック）、鳥（カッコウ）を決定。
38(1963)年	第1回さっぽろ菊まつり開催。
40(1965)年	第1回定山渓かっぱ祭り開催。第1回すすきの祭り開催。
45(1970)年	時計台が重要文化財に指定される。90m級大倉山ジャンプ競技場完成。
46(1971)年	北海道開拓記念館オープン。
47(1972)年	第11回冬季オリンピック大会開催。政令指定都市へ移行し、7区役所開設。ミュンヘン市と姉妹都市提携調印。豊平峡ダム完成。
48(1973)年	札幌市資料館オープン。札幌観光協会社団法人化。
52(1977)年	「札幌の観光（観光白書）」発行開始。
53(1978)年	「カッコウの窓口」開設。すすきの観光協会設立。
54(1979)年	緑のセンター開設。25年ぶりに豊平川にサケ遡上。
55(1980)年	瀬陽市と友好都市提携調印。冬のスポーツ博物館オープン。本市の観光キャッチフレーズ「好きです。Sapporo」がロゴマークとともに決定。
56(1981)年	青少年科学館オープン。第1回さっぽろホワイトイルミネーション開催。
58(1983)年	北海道開拓の村オープン。百合が原公園開園。
59(1984)年	第1回札幌国際見本市開催。豊平川さけ科学館オープン。
61(1986)年	「国際観光モデル地区」の指定を受ける。第1回アジア冬季競技大会、86さっぽろ花と緑の博覧会開催。札幌芸術の森一部オープン。
62(1987)年	第1回さっぽろ国際フェスティバル開催。
平成元(1989)年	定山渓ダム完成。はまなす国体開催。円山動物園に「タスマニア館」オープン。厚別・手稲区の誕生により、9区体制へ移行。
2(1990)年	「さっぽろ雪まつり」の中島会場を第4会場として設置。ノボシビルスク市と姉妹都市提携調印。PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル）初開催。「観光基本計画」策定。
3(1991)年	ユニバーシアード冬季大会開催。定山渓に「メルヘンかっぱ像」20体設置。第1回定山渓もみじ大茶会開催。

年 度	沿 革
4 (1992)年	政令指定都市移行 20 周年記念事業メモリアルコンサート「さっぽろの歌」開催。定山渓観光協会社団法人化。観光客誘致キャンペーン「さっぽろの夕べ」初開催。第1回 YOSAKOI ソーラン祭り開催。
5 (1993)年	大通公園(8-9丁目)連続化実現。第1回さっぽろふれあいフェスタ開催。すすきの観光協会社団法人化。
6 (1994)年	「国際会議観光都市」の認定を受ける。リンクエージ・アップフェスティバル初開催。阪神淡路大震災のため「さっぽろ雪まつり」の花火大会などを自肅。
7 (1995)年	円山動物園にキッドランドと鳥類館オープン。サッポロさとらんど一部オープン。「おおば比呂司記念室」札幌市資料館内にオープン。YOSAKOI ソーラン祭り普及振興会設立。札幌市観光産業経済効果調査結果発表。
8 (1996)年	「さっぽろリンクルバス」登場。「石山緑地」完成。定山渓温泉「健康保養地」宣言。さっぽろホワイトイルミネーション「日本建築美術工芸協会賞 特別賞」受賞。2002年ワールドカップサッカー大会開催決定。青少年科学館リニューアルオープン。
9 (1997)年	下水道科学館、札幌コミュニティドーム(愛称・つどーむ)、札幌コンサートホール「Kitara」オープン。道央三温泉協議会設立。札幌市営観光バスを廃止。清田区の誕生により 10 区体制へ移行。
10(1998)年	YOSAKOI ソーラン祭り組織委員会設立。円山動物園「動物センター」、渡辺淳一文学館、定山渓自然の村、モエレ沼公園オープン。さっぽろ夏まつりビアガーデンに地ビール登場。北海道国際航空(エア・ドゥ)就航。
11(1999)年	さっぽろ羊ヶ丘展望台「羊ヶ丘エディングパレス」、北海道立総合体育センター(愛称・きたえーる)オープン。
12(2000)年	大倉山ジャンプ競技場リニューアルオープン。 札幌ウィンタースポーツミュージアムオープン。
13(2001)年	札幌ドーム「Hiroba」オープン。
14(2002)年	2002 FIFAワールドカップ開催(札幌ドームで3試合開催)。ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 開催。札幌駅南口にJRタワーオープン。 札幌コンベンションセンター竣工。
15(2003)年	札幌コンベンションセンターオープン。
16(2004)年	さっぽろ赤レンガカフェ、さっぽろら~めん共和国、千歳鶴ミュージアム・アネックスオープン。サッポロビール博物館リニューアルオープン。
17(2005)年	さっぽろライラックまつりで「ライラックワインガーデン」開催。第1回藻岩山の日。モエレ沼公園グランドオープン。定山渓温泉公園オープン。サッポロさとらんどがさっぽろ雪まつりの第2会場に。
18(2006)年	ノリアオープン。さっぽろスイーツのコンペティションスタート。藻岩山にて、BAR THE ICE 開催。FIS ノルディックスキー世界選手権札幌大会開催。北海道さっぽろ「食と観光」情報館オープン。
19(2007)年	平岡公園の梅林ライトアップ事業実施。「SAPPORO CITY JAZZ」初開催。観光文化情報ステーションオープン。さっぽろ雪まつり大通会場にスケートリンク設置。
20(2008)年	北海道洞爺湖サミット開催。さっぽろオータムフェスト初開催。観光立国の推進体制強化を目的に観光庁発足。つどーむがさっぽろ雪まつり第2会場に。
21(2009)年	さっぽろ広域観光圏認定。中国人個人観光客への査証発給開始。新千歳空港国際線旅客ターミナルオープン。

7 平成 22 年度のイベントカレンダー

月	イベント名	日程	内容	会場	問合せ先 (市外局番 011)
5月	渓流鯉のぼり	4月10日(土) ～5月9日(日)	定山渓の渓流に約350匹の鯉のぼりを掲揚する定山渓温泉の春の風物詩。	定山渓スポーツ公園ほか	定山渓温泉旅館組合 598-2537
	平岡公園・梅林 ライトアップ	5月7日(金) ～17日(月)	梅の名所としてしられる平岡公園。約1,200本の紅梅・白梅をライトアップします。	平岡公園	事務局 211-2376
	第52回さっぽろ ライラックまつり	5月19(水) ～23日(日)	ライラック苗木のプレゼント、記念植樹、ワインガーデン、野立て、喫茶コーナー、音楽隊演奏など、札幌の木ライラックが満開の大通公園の春のイベント。	大通公園・川下公園	実行委員会 211-2376
	藻岩山の日	5月29日(土) ～5月31日(月)	標高531mにちなみ、記念登山などのイベントを行います。	藻岩山	事務局 211-2376
	花・水・木ウォーク	5月30日(日)	札幌と北広島を結ぶ初夏のサイクリングロードを舞台に、自然の心地よい風景を楽しみながらウォーキングする大会。	白石サイクリングロードほか	さっぽろ健康スポーツ財団 530-5562
6月	第19回 YOSAKOIソーラン祭り	6月9日(水) ～13日(日)	自由で独創的な激しいリズムにのって約300チーム、3万人以上が乱舞する。飛び入り参加ができるワオドリソーランもあります。	大通公園ほか	組織委員会 231-4351
	北海道神宮例祭	6月14日(月) ～16日(水)	御輿、山車、露店など、昔ながらのお祭り。「郷土の日」を実感する通称「札幌祭り」です。	北海道神宮・札幌市内	北海道神宮 611-0261
	大つけ麺博 (さっぽろ夏まつり 協賛行事)	6月14日(月) ～7月4日(日)	関東や九州のつけ麺の名店と札幌の有名ラーメン店が大通公園2丁目でつけ麺イベントを開催。1週間ごとに店舗が入れ替わり、総計18店が出店。国内各地の有名ラーメン店のつけ麺を札幌で楽しめます。	大通公園2丁目	(6/11まで) HTB代表 821-4411 (6/12以降) 実行委員会 251-5977
	花フェスタ 2010 札幌	6月26(土) ～7月4日(日)	パビリオンでのラン展示他、立体花壇や花モニュメントで初夏の札幌の街を美しく彩ります。	大通公園	事務局 863-3987
7月	PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル 2010)	7月8日(木) ～8月5日(木)	若手音楽家を育成とともに、音楽教育を通じて音楽文化の普及・発展をめざす国際教育音楽祭。クラシックを野外でのピクニックコンサートなどでも楽しめます。	芸術の森、コンサートホール Kitaraほか	組織委員会 242-2211
	SAPPORO CITY JAZZ 2010 (さっぽろ夏まつり 協賛行事)	7月11日(日) ～8月29日(日)	緑が多い札幌の特徴を活かした都市型ジャズフェスティバル。ゲストミュージシャンによるワークショップを行うほか、イベント運営にボランティアスタッフが参加するなど、音楽を通じた芸術文化の振興を市民と一緒に行います。ミュージックテント「ホワイトロッカ」などで、様々なライブを行います。	大通公園、芸術の森など	実行委員会 592-4125

	すすきのビアガーデン 2010 (さっぽろ夏まつり協賛行事)	7月15日(木) ～7月17日(土)	すすきの中心部の歩行者天国(駅前通り及び南5条通り)で行われる「夜市」には、地元すすきの飲食店ブース約50店と道内各地の物産ブース約5店が並びます。また、プロ・アマチュアバンドのライブステージなどが行われる「すすきの音楽祭」も同時開催されます。	すすきの地区	実行委員会 050-5511-6422
	第36回豊平川イカダ下り (さっぽろ夏まつり協賛行事)	7月18日(日)	市民のチームが、手製のイカダで川を流れ下ります。ユニークなイカダやコスチュームでのパフォーマンスが楽しい。	豊平川幌平橋下流	実行委員会事務局(中央区役所地域振興課内) 231-2400内線256
	第57回さっぽろ夏まつり	7月21日(水) ～8月20日(金)	約1ヶ月間、大通公園を会場に、ビアガーデン(7月21日～8月15日)や、北海盆踊り(8月14日～20日)、さっぽろバザールなど、様々なイベント等で夏を楽しみます。	大通公園	実行委員会 211-2376
	第57回狸まつり (さっぽろ夏まつり協賛行事)	7月21日(水) ～8月20日(金)	さっぽろ夏まつりに併せて行われる、狸小路の夏まつり。歴史ある商店街の情緒ある祭り風情は、とても素敵です。	狸小路商店街	商店街振興組合 241-5125
	カルチャーナイト2010	7月23日(金)	普段は夕方で閉館する文化施設や民間施設で夜間開放を行います。普段はできない貴重な文化体験ができます。	北一条通りと札幌駅前通りを軸としたエリア	実行委員会 261-8633
	豊平川花火大会 (さっぽろ夏まつり協賛行事)	7月23日(金)	道新・UHB花火大会	豊平川南大橋付近	北海道新聞社 210-5732
	第7回札幌市長杯荒井山ジュニアサマージャンプ大会 (さっぽろ夏まつり協賛行事)	7月27日(火)	小中学生によるサマージャンプ競技を観戦することができます。	荒井山シャンツエ	札幌スキー連盟 221-1661
	第28回札幌市長杯宮の森サマージャンプ大会 (さっぽろ夏まつり協賛行事)	7月31日(土)	国内のトップ選手が集うノルディックスキージャンプ競技の大会。	宮の森ジャンプ競技場	札幌スキー連盟 221-1661
8月	第11回札幌市長杯大倉山サマージャンプ大会 (さっぽろ夏まつり協賛行事)	8月1日(日)	冬だけでなく夏でもジャンプ競技を観戦することができます。	大倉山ジャンプ競技場	札幌スキー連盟 221-1661
	定山渓温泉かっぱウイーク (さっぽろ夏まつり協賛行事)	8月4日(水) ～8日(日)	定山渓スイーツなどの新たな定山渓の「食」の提供や、札幌市南区で収穫された新鮮農産物の販売、アート縁日の実施など、定山渓温泉エリアで秋を満喫できるイベント。	定山渓温泉	定山渓観光協会 598-2012
	第7回すすきのはしご酒大会 (さっぽろ夏まつり協賛行事)	8月4日(水)	チケット交換で渡されるラリーカードを持ち、指定される5軒の飲食店を、スタートの18時30分～ゴール締め切りの20時30分までにハシゴするというウォークラリー。	すすきの地区	すすきの観光協会 518-2005

	第 46 回すすきの祭り (さっぽろ夏まつり協賛行事)	8月5日(木) ～7日(土)	屋台、花魁道中、みこし渡御、ワゴンセールなど、すすきのが一大イベント会場に。綺麗な花魁は必見です。	すすきの地区	すすきの観光協会 518-2005
	灯籠流し	8月15日(日)	毎年8月15日の行事。	鴨々川護国神社付近	妙心寺 511-7634
	2010 北海道マラソン	8月29日(日)	国内・外の招待選手をはじめ一般ランナー合せ約8,000人がフィニッシュ地点の大通公園を目指します。札幌市内各地で選手の力走をみることができます。	中島公園スタート、大通公園フィニッシュ	北海道新聞社 232-0840
9月	第 10 回さっぽろパフォーマンスカーニバル だい・どん・でん！	9月4日(土) ～5日(日)	札幌駅前通りの歩行者天国で、大道芸・アート・音楽のあらゆるジャンルのパフォーマンスが行われます。	駅前通(歩行者天国)	札幌都心にぎわいづくり実行委員会事務局 211-1185
	第 33 回北海道を歩こう	9月5日(日)	札幌市南区真駒内からスタートし支笏湖まで33キロを歩くウォーキングイベント。10キロのコースもあります。	真駒内～支笏湖	さっぽろ健康スポーツ財団 530-5562
	さっぽろタパス2010	9月5日(日) ～9日(木)	札幌の街の中を回って飲食店などを食べ歩くイベント。ボノタパスというチケット繰り(5枚/9枚)を使って、参加店をめぐり、各店の特色あるタパス(おつまみ)と飲み物を楽しめます。	大通、すすきの、円山、藻岩山・山鼻地区など	さっぽろタパス実行委員会 211-1957
	アシリチップノミ(新しい鮭を迎える儀式)	9月12日(日)	アイヌ民族の伝統行事「新しい鮭迎えの儀式」で、途絶えてからおよそ100年ぶりに昭和57年から復活しました。	豊平川南7条大橋上流左岸河川敷(南7条西1丁目)	アシリチップノミ実行委員会 1807-0083
	さっぽろオータムフェスト2010	9月17日(金) ～10月3日(日)	食をメインテーマとした秋の豊穣祭。北海道・札幌を代表する食・グルメを中心に、道内各地から旬の素材、ご当地グルメと一緒に取り揃えます。北海道の秋の実りを満喫できる新しいお祭り。	大通公園	実行委員会 211-2376
	簾舞通行屋(みすまいつけこうや)まつり	9月26日(日)	札幌市指定文化財・旧黒岩家住宅で催される簾舞地域の交流イベント。	旧黒岩家住宅(旧簾舞通行屋)	簾舞通行屋まつり実行委員 596-2059
10月	第 35 回札幌マラソン大会	10月3日(日)	ハーフマラソン、10km、車イス5km、ファンペア3km、2kmなど、多彩な種目で気軽に楽しむことができます。	真駒内屋外競技場スタート	さっぽろ健康スポーツ財団 530-5562
	第 20 回定山渓もみじ大茶会	10月3日(日)	定山渓温泉内の6会場(ホテル)で、お茶会が開かれます。	定山渓温泉	定山渓観光協会 598-2012
	札幌国際短編映画祭	10月6日(水) ～10月11日 (月・祝)	札幌市において将来性が期待されるデジタルコンテンツ分野の中でも、短編映画(ショートフィルム)の産業化を推進するため、国際映画祭を札幌で開催します。	札幌東宝プラザほか	SAPPOROショートフェスト実行委員会 817-8924
	2010 さっぽろ菊まつり	10月31日(日) ～11月3日(水・祝)	大輪や懸崖など、市民の自慢の力作が地下街に大々的に展示されます。	札幌地下街	実行委員会 211-2376
	さっぽろアートステージ2010	10月31日(日) ～12月19日(日)	札幌市の芸術文化月間と位置付け、演劇、ストリートライブ、小中高校生の音楽祭等、文化的事業を集中的に行います。	市内各所	実行委員会 281-7117

11 月	第 30 回さっぽろホ ワイトイルミネーシ ョン	大通 11 月 26 日(金) ～23 年 1 月 2 日 (日) 駅前通り・南 1 条通り 11 月 26 日(日) ～23 年 2 月 13 日 (日)	メインオブジェ、立木装飾など、 幻想的なイルミネーションが、札 幌駅前通、大通公園、南一条 通りを鮮やかに彩ります。	大通公園・ 札幌駅前 通・南一条 通り	札幌観光協会 211-3341
	ミュンヘン・クリスマ ス市 in Sapporo	11 月 26 日(金) ～12 月 24 日(金)	姉妹都市ミュンヘンのクリスマス 市を大通公園に再現します。異 国情緒豊かで、本場ドイツのワ インやビール、ソーセージなど特 産品が味わえます。	大通公園 2 丁目	クリスマス市 実行 委員会 211-2032
2 月	第 62 回さっぽろ雪 まつり	23 年 2 月 7 日(月) ～13 日(日)	いまや、世界的にも有名になっ ている、雪国最大のイベント。 大小合わせて 250 基の雪氷像 が、大通公園やすすきのの会場 で堪能できます。雪で出来てい るとは思えない精巧な大雪像 は、高さ 15 メートルにも及びま す。	大通公園・ つどい・す すきのほか	実行委員会 211-2376
	第 31 回札幌国際 スキーマラソン	23 年 2 月 13 日(日)	スキーマラソンから歩くスキーマ で、様々な種目があり、世代を 問わず参加できる大会です。	札幌ドーム 周辺	さっぽろ健康スポー ツ財団 530-5562

※ 日程・イベント名等は予定です。変更・中止の可能性がありますので、ご注意ください。